

Japan Auto Parts Industries Association

# JAPIA NEWS

2017  
5・6

隔月刊  
(通巻719号)

一般社団法人 日本自動車部品工業会

特 集

## 「適正取引」の推進と 生産性・付加価値向上 に向けた自主行動計画」

連載 DBJ経済ワンポイント解説 Vol.15

緩やかな回復が続く欧州経済

日本政策投資銀行寄稿

「北海道における自動運転技術の  
開発拠点化を考える」

<http://www.japia.or.jp>

# 自分の限界を 自分で決めるな。

トヨタ紡織は常に挑戦を続けてきた。

「快適」という数値化の困難な課題に対して、  
運転時の揺れや振動の再現、  
シートにかかる圧力の分布を計測することで、  
“乗り心地”を科学的に分析し、日々あくなき追究を重ねている。

わたしたちが恐れているのは、  
「できない」と思いこんで、これからの成長の芽を摘んでしまうこと。  
不可能と思った瞬間に、人は思考をやめてしまうものだ。  
「どうすればできる？」 そう問い直してみるだけで、  
目の前に立ちはだかっていた壁は、超えるべきハードルへと姿を変える。  
次の瞬間には、きっとあなた自身がそのハードルの超え方を模索し始めている。

トヨタ紡織にとっての次のハードルは、乗り物の種類という領域を超えること。  
どんな乗り物でも、トヨタ紡織の「快適な乗り心地」を体感してもらうには、何ができるか。

トヨタ紡織の「快適な乗り心地」に関する技術への挑戦に、限界はない。

トヨタ紡織が生み出す製品は、様々な領域に広がっています。



シート



ドアトリム



エアクリナー



ハイブリッドシステム用  
モーターコア構成部品



北陸新幹線グランクラス搭載シート



航空機シート

**Koito**



## 安全を光に託して

### 株式会社小糸製作所

〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号

TEL: 03-3443-7111 (代表) <http://www.koito.co.jp>

人とクルマの安全は、わたし達の願いです。

小糸製作所は自動車照明分野のリーディング・カンパニーとして  
これからも人と環境にやさしい製品を提供してまいります。

## モノづくりで社会に貢献する。



### フタバ産業株式会社

〒444-8558 岡崎市橋目町字御茶屋1番地

TEL.0564-31-2211(代)

<http://www.futabasangyo.com>

# 「企業は人」 材育成 環境が変化しても 長し続ける 人材を育てる

人材育成制度

040 社

目標設定研修

098 回

評価者能力研修

567 回

昇格者選抜評価

160 回

人事・人材開発支援の

## 主な実績企業

アイシン・エーアイ株式会社  
アイシン・エンジニアリング株式会社  
アイシン化工株式会社  
アイシン機工株式会社  
アイシン軽金属株式会社  
アイシン・コムクルーズ株式会社  
株式会社アイシン・コラボ  
アイシン精機株式会社  
アイシン辰栄株式会社  
アイシン高丘株式会社  
NTN 株式会社  
株式会社キャタラー  
埼玉工業株式会社  
株式会社ソミック石川  
津田工業株式会社  
株式会社デンソーエアシステムズ  
株式会社デンソーセールス  
デンソーテクノ株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社豊田自動織機  
浜名湖電装株式会社  
浜名部品工業株式会社  
豊生プレーキ工業株式会社  
マブチモーター株式会社 他 (50 音順)

## 株式会社シナジーパワー

愛知県名古屋市中区丸の内 1-17-19 キリックス丸の内ビル 8F  
TEL 052-204-4780 FAX 052-204-4700 〒460-0002  
E-MAIL info@synergy-power.co.jp

# イワタボルトの グローバルネットワーク

## 国内

- ・栃木工場・一関・山形・仙台・福島・宇都宮・栃木
- ・上田・群馬・太田・埼玉・つくば・千葉・五反田
- ・多摩・横浜・湘南相模・富士・浜松・名古屋・刈谷
- ・三重・大阪・広島・福岡・久留米

## 海外

- ・タイ工場・シンガポール工場・オハイオ工場
- ・深圳工場・香港・上海・蘇州支店・武漢
- ・深圳貿易・深圳汽车零部件
- ・シンガポール・マレーシア・タイ・インドネシア
- ・アメリカ (ロサンゼルス・アトランタ・  
オハイオ・ナッシュビル)・メキシコ  
(グアダラハラ・ケレタロ)・カナダ



## 認定または認証取得一覧

|        | タイトル               | 認定・認証施設                      | 取得No.        | 認定・認証機関       |
|--------|--------------------|------------------------------|--------------|---------------|
| 日本     | ISO/IEC 17025:2005 | 栃木試験所                        | RTL00210     | JAB           |
|        | ISO/IEC 17025:2005 | 技術開発課 IBラボ                   | ASNITE 0050T | IA Japan      |
|        | ISO 9001:2008      | 栃木工場・技術開発課                   | YKA200001    | LRQA          |
|        | ISO 14001:2004     | 本社・五反田(営)・栃木工場               | 0772850      | LRQA          |
| アメリカ   | ISO/TS 16949:2009  | IWATA BOLT USA, INC.         | TS613385     | BSI           |
|        | ISO 14001:2004     | IWATA BOLT USA, INC.         | EMS549810    | BSI           |
| シンガポール | ISO 9001:2008      | IWATA BOLT SINGAPORE PTE.LTD | 94-2-0318    | PSB           |
|        | ISO 14001:2004     | IWATA BOLT SINGAPORE PTE.LTD | 2004-0265    | PSB           |
| タイ     | ISO 9001:2008      | IWATA BOLT THAILAND CO.,LTD. | C2015-01314  | PERRY JOHNSON |
|        | ISO 14001:2004     | IWATA BOLT THAILAND CO.,LTD. | C2015-01313  | PERRY JOHNSON |
| 中国(深圳) | ISO/TS 16949:2009  | 岩田螺絲(深圳)有限公司                 | 0079530      | TÜV NORD      |
|        | ISO 9001:2008      | 岩田螺絲(深圳)有限公司                 | 04100062166  | TÜV NORD      |
|        | ISO 14001:2004     | 岩田螺絲(深圳)有限公司                 | 04104062166  | TÜV NORD      |

# 【IB】イワタボルト 株式会社

〒141-8508 東京都品川区西五反田 2 丁目 32 番 4 号

電話 03(3493)0211(代表)

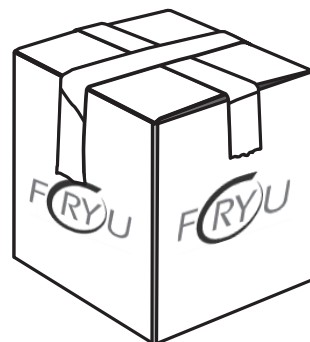
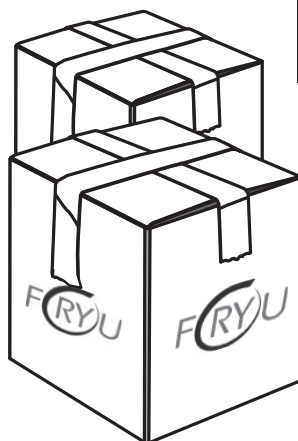
<http://www.iwatabolt.co.jp/>

日本から中国へ、中国から日本へ、  
航空貨物より速く、  
クーリエよりも速く貨物を運びたい…

定期便ご利用なら、  
¥10,000 より

フォーユーエクスプレス

日本  中国間



同日即配！通関業務もお任せ下さい！

最速

安心、確実、丁寧な  
ハンドキャリーで  
皆様のご要望に答えます。

TEL : 03-5651-5685 Mail : info@foryouexpress.jp  
FAX : 03-3661-8170 URL : http://foryouexpress.jp/



フォーユーエクスプレス

検索

自動車業界に精通したISO審査で  
環境・品質マネジメントシステムの  
マンネリ化を脱してみませんか？

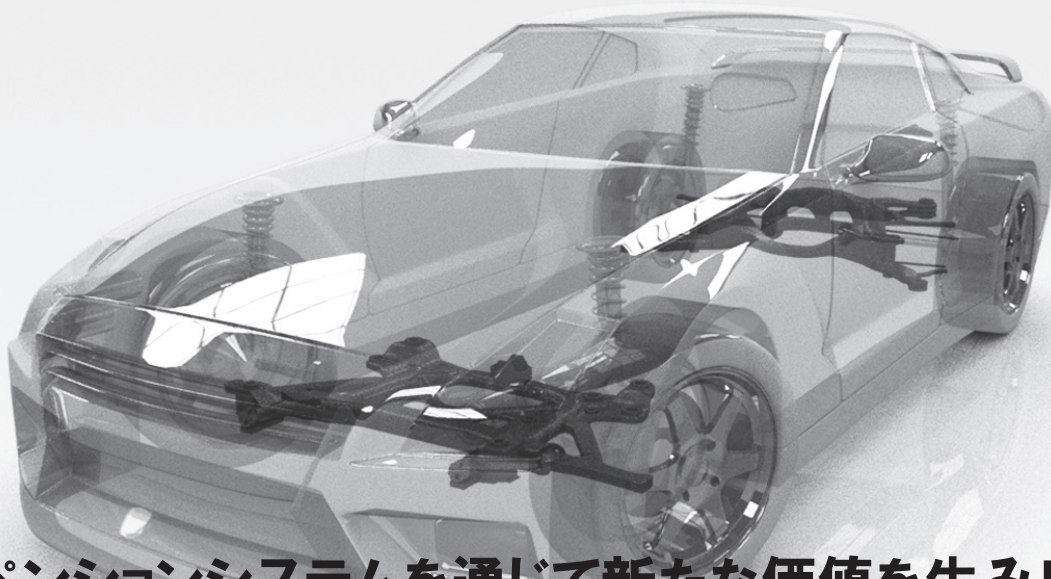
<http://www.jari-rb.jp/ja>



一般財団法人日本自動車研究所 認証センター  
JARI-RB

# YOROZU

Passion for Innovation, Drive for Innovation



サスペンションシステムを通じて新たな価値を生み出し、  
“ヨロズブランドを世界に”

株式会社ヨロズ 〒222-8560 神奈川県横浜市港北区樽町3-7-60 TEL:045-543-6800 <http://www.yorozu-corp.co.jp/>

## どこでも 見られる 使える 電子版!

日刊自動車新聞 新 電子版

パソコンやスマホでニュースをチェック! 新聞紙面の記事はもちろん、ウェブならではの速報対応で、業界動向をリアルタイムでお伝えします。電子版でしか読めないコンテンツが満載。気軽に使える情報ツールとしてお役立てください。



外出時や出張先、  
海外でもご利用OK!

外出先や海外でも、ちょっとした  
空き時間を利用して気になる記事  
をチェックできます。



過去の記事もすぐに見る  
バックナンバー検索

全文検索機能でキーワードからの  
記事検索もラクラク。期間を指定  
しての検索もできます。



速報  
機能



無料のお試し購読はこちらから [日刊自動車新聞 電子版](#) 検索

<http://www.netdenjd.com/>

購読の申し込み・お問い合わせ

日刊自動車新聞社

販売推進部

〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル3階

TEL: 03-5777-2318 FAX: 03-5777-2319

E-mail: hanbai@njd.jp

# JAPIA NEWS

2017  
5・6  
隔月刊

一般社団法人 日本自動車部品工業会

(通巻719号)

## 目次

- 8 巻頭言  
副会長・判治 誠吾(大同メタル工業会長・最高経営責任者)
- 10 特集 「適正取引の推進と  
生産性・付加価値向上に向けた  
自主行動計画」
- 14 連載 DBJ 経済ワンポイント解説 Vol.15  
緩やかな回復が続く欧州経済  
日本政策投資銀行
- 16 北海道における自動車運転技術の  
開発拠点化を考える  
日本政策投資銀行
- 18 工業会業務レポート・スケジュール
- 26 支部活動レポート  
中部支部視察報告 環境部会
- 28 北米事務所だより Vol.125  
―「ニューヨーク・オートショー」―
- 29 日刊自動車新聞 NEWSダイジェスト
- 32 指標・統計

平成29年5月15日発行  
(隔月1回15日発行)

### ■発行所

一般社団法人  
日本自動車部品工業会  
〒108-0074  
東京都港区高輪1-16-15  
電話 03-3445-4212  
FAX 03-3447-5372

### ■編集

日刊自動車新聞社  
〒105-0012  
東京都港区芝大門1-10-11  
芝大門センタービル3階  
電話 03-5777-2351(代表)

### ■価格(消費税・送料別)

1部1,000円

JAPIA会員企業様向け  
最新のセミナーの案内や情報等は…

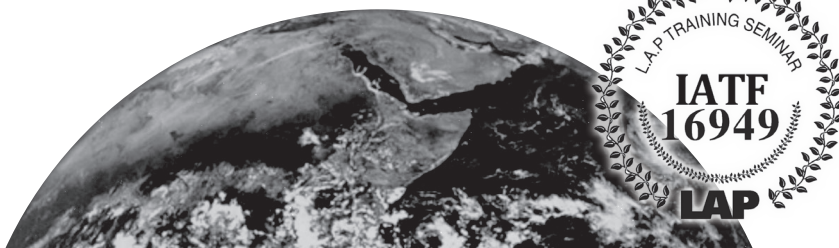
[www.lapj.co.jp](http://www.lapj.co.jp) まで

ISO教育コンサルティング

株式会社エルエーピー

**LAP**<sub>IO</sub>

Lead Auditor Project Team



〒106-0032 東京都港区六本木1-7-27 TEL:03-5114-2930 Email: iso@lapj.co.jp

# 巻頭言

Introduction

## グローバルで支え合う 「グローバルファースト」を



一般社団法人日本自動車部品工業会  
副会長・判治 誠吾

[大同メタル工業株式会社 代表取締役会長  
兼最高経営責任者]

世界情勢、世界経済状況について、よく先行きがどうなるか分からない、不透明感という言葉が使われています。

本当に不透明なのでしょうか…… 私は、そのようには思いません。

不透明なんていう生半可な状況でなく、全く悪い方向に進んでいます。

時代は完全に逆回転し始めていると思われるてなりません。

昨年 of イギリスのブレグジットに始まるEU崩壊の危機、そしてアメリカにおけるトランプ氏の大統領就任、これからのフランス大統領選挙、秋のドイツ選挙の行方等々、まだまだどのように転回するか分からない部分も確かにありますが、世界一大強国であるアメリカにおいて 基本的に保護主義者であるトランプ氏が大統領に就任したことにより “アメリカ ファースト”、TPPも瓦解、NAFTAの見直し、関税の見直し等々、保護主義へ逆戻り一直線です。

大体、多国間で交渉して貿易不均衡を失くしていくから、ある意味、ある程度、公平公正になっていくのであって 二国間交渉となれば 強い国（経済的にも軍事的にも）が 優位な交渉となり、とても公平な

自由貿易とは 言えなくなります。

こうなれば、日本は 米国を除いてT P Pを早く締結し、日本 対 米国といった二国間でなく（米国を除いた）T P P締結国対 米国の交渉に持ち込むべきと考えます。

N A F T Aの見直し、国境税の新設、また 貿易不均衡だからと言って、中国への関税強化、米国車だけ規則を強くしている訳ではない、現に ドイツ車等は日本での販売を伸ばしているのに、日本への米国車に対する輸入規制を緩和しろ、米国への輸入関税を大幅に上げると言っているが、それで本当に米国民は喜ぶのであろうか。

性能の良い輸入車が高くなり、輸入部品が高くなることにより車の価格が高くなる。

“Flying over people”と言われた米国中西部の人々は喜ぶでしょうか。

トランプ氏は、また選挙中も米国で雇用を拡大すると言い、企業にそのように求めています。現在米国の失業率は4%台で完全雇用と言える数値です。

これ以上、雇用を増やすとなると、移民を増やさねばなりません。

そして、これは彼の移民政策に矛盾する

と思うのですが……

民主主義の罨、ポピュリズムの問題と言われますが、慶應大学の坂井 豊貴教授は、こんな風に言っています。「民意を明らかにするというより、民度が明らかになってしまふ、それが国民投票ではないでしょうか」

では、日本は これからどうしたら良いのでしょうか？

私は こんな時こそ 自分の事だけ考えるのではなく 他人に憐れみ痛みを感じる心、弱いものに対し同情する心を持つ、即ち“惻隱の情”を持ち、比較的“中庸”“公平”“公正”な心を持つ日本人が、世界をリードし、物質的だけでなく精神的に世界の人々を支え、リードしていくことが肝要と考えます。

勿論、我々日本、日本人にも足りないところ、足りない点が沢山あります。

それを、グローバルで支え合い、あくまでも 謙虚に、揺るぎない自信を持って 助け合ってゆくことが 真のグローバルゼーションへの道ではないでしょうか。

“アメリカ ファースト”ではなく、“グローバル ファースト”でありたいと考えます。

特集

## 部工会「適正取引」の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」

一般社団法人日本自動車部品工業会（部工会）は、平成28年10月6日に世耕弘成経済産業大臣との懇談会を開催し、世耕大臣より取引適正化に向けた自主行動計画策定の要請を受けた。これを受け、部工会では関係委員会で自主行動計画の骨子や内容について検討を行い、平成29年3月16日の理事会で了承され、会員向けに公表した。

～ 平成28年10月6日 世耕経済産業大臣との懇談会（都内のホテルにて）～



経済産業省幹部（中央 世耕大臣）



部工会正副会長等（中央 志藤会長）

## ■経緯、発表資料

一般社団法人日本自動車部品工業会（以下部工会）は、日本のものづくりの競争力強化の一環として、平成19年に経済産業省が策定し、その後改訂された「自動車産業適正取引ガイドライン」（以下ガイドライン）や下請法等関係法規に基づき、取引適正化に努めてまいりました。

部工会では、「下請中小企業振興法に基づく振興基準（振興基準）」等の改正を踏まえて、自主行動計画を策定し、今年3月の理事会で機関決定を行いました。（当会ホームページの「お知らせ」に自主行動計画を掲載しております。<http://www.japia.or.jp/whatnew/post-147.html>）

会員企業様におかれましては、下請法や振興基準等関係法令の遵守に加えて、「自主行動計画」の趣旨をご理解いただき、本計画に基づく、取引の改善に繋がる具体的な取り組みをお願い申し上げます。

中小企業庁／経済産業省が定める指針により、フォローアップ調査の実施（秋頃／調整中）を予定しておりますので、ご協力の程、お願い致します。

## ■自主行動計画の概要

・部工会は、ガイドラインに掲げられている調達5原則を適正取引推進宣言として表明し、経済産業大臣の掲げた「未来志向型の取引慣行に向けて」にある3つの課題「価格決定の適正化」「コスト負担の適正化（型の管理・費用負担等）」「支払条件の改善」について、サプライチェーン全体での取引適正化に向けて取組を行う。

・自動車産業は幅広い裾野と階層を持ち、受発注事業者が相互に支えられ成り立つ産業であるため、持続的な成長に向けて、相互の理解と信頼を構築し連携していくことで、サプライチェーン全体で付加価値を高め、競争力を強化していくことが重要である。

・部品メーカーは、業界、企業規模、取扱品目、取引上の位置付け等が多種多様で、部工会会員会社は、そのサプライチェーンの中流に位置する重要な役割を果たしている。自動車メーカー等発注事業者が実施する自主行動計画に基づいた取組を考慮し、自社の実態を踏まえ、取引先に自主行動計画に基づく活動を着実に実践していく。その取組を定期的にフォローアップし、改善していくことにより、サプライチェーン全体に取引の適正化を浸透させていく。

(参考)

■未来志向型の取引慣行に向けて  
(世耕プラン)

<http://www.meti.go.jp/press/2016/09/20160915002/20160915002.html>

■中小企業庁：振興基準の改正、通達の見直し

<http://www.meti.go.jp/press/2016/12/20161214002/20161214002.html>

■公正取引委員会：下請法の運用基準の改正

[http://www.jftc.go.jp/houdou/pressrelease/h28/dec/161214\\_1.html](http://www.jftc.go.jp/houdou/pressrelease/h28/dec/161214_1.html)

## I. 重点課題に対する取組み

### 1. 合理的な価格決定

競争力の維持・強化に向けて、引き続き自動車メーカー、部品メーカー、取引先がそれぞれの立場で不断の原価低減努力を重ねることが必要不可欠である。その上で部品メーカーは取引価格決定に当たり、今般の運用基準、振興基準改正を踏まえ、取引数量、納期、品質等の条件や材料費の変動等を考慮し、取引先と十分に協議を行う。

### 2. 型管理の適正化

部品メーカーは、今般の下請中小企業振興法に基づく振興基準等の改正や自動車メーカーが自主行動計画に沿って進める型

管理適正化の取組みを踏まえ、型の所有権の所在に関わらず、量産から補給までのトータルでの競争力確保を前提に、保管費用の負担、及び返却や廃棄の手続における型管理の適正化・改善に取り組んでいく。

### 3. 下請代金支払の適正化

部品メーカーは、今般の下請中小企業振興法に基づく振興基準や関連通達の改正を踏まえ、取引価格のみならず、支払方法も取引先の事業活動に大きな影響を与えることを認識し、下請事業者と十分に協議し、下請事業者の資金繰りに配慮をしたものとするよう改善に努めていく。

## II. 自動車産業適正取引ガイドラインの遵守

部工会会員会社は、下請取引適正化の推進のため経済産業省が策定した「自動車産業適正取引ガイドライン」で掲げられている、問題視されやすい行為について、公正な取引を実行するよう取組む。

## III. 取引先支援活動の推進

部工会会員会社は、裾野の広いサプライチェーンの技術力、品質、価格競争力等に支えられており、取引先との適正な取引条

件の下で信頼関係を築き、共存共栄関係を長期的に維持していくことが、自らの競争力の強化に繋がるとの認識のもと、生産性の向上や製品の品質等の改善に努める取引先の事業活動を積極的にサポートする。取引先には、同様の取組みをその先の取引先以降にも展開していくよう働きかける。

## IV. 教育・人材育成の推進

部工会会員会社は、「未来志向型の取引慣行に向けて」、振興基準改正、自動車産業適正取引ガイドライン等を踏まえて、各社で保有する業務ルール、教育ツール等について見直しを行い、社内の取組を継続・強化し、周知・徹底を図る。

## V. 普及啓発活動の推進

サプライチェーン全体への適正取引の推進は、部工会および部工会会員会社だけの取組みでは難しいことから日本自動車工業会をはじめ関係業界と連携し、適正取引の普及啓発に努める。部工会会員会社は、自ら適正取引を実行するとともに、発注側の立場では取引先に対して、受注側の立場では自動車メーカー等発注事業者に対し働きかけを行う。こうした取組みを通じて、部工会及び部工会会員会社は、サプライチェーン全体に適正取引の連鎖が生まれる

よう努める。

## VI. 定期的なフォローアップと改善

適正取引の推進には、自主行動計画に掲げた精神や行動規範を、部工会会員会社の調達活動に定着させることが重要。そのため、部工会は中小企業庁／経済産業省が定める業種横断的なフォローアップの指針を踏まえ、自主行動計画を定期的にフォローアップすることにより、実施状況を確認・評価し、必要に応じ改善していく。

# 緩やかな回復が続く欧州経済 欧州主要国の政治リスクが下振れ要因 となる可能性も

2016年のEU28カ国の実質GDPは前年比1.9%増となり、欧州委員会の試算で1%台前半とされる潜在成長率を上回って推移しており、欧州経済は緩やかな回復が続いている。欧州経済を支えているのは底堅く推移する個人消費である。失業率はギリシャなどでは未だ高い水準にあるものの、EU28カ国全体では足元8%程度と、2013年をピークに緩やかな低下基調が続いており、消費の下支えになっている。

またECBの緩和的な金融環境も経済を下支えしており、低金利が乗用車販売の増加などにつながっている。現在、ECBはマイナス金利(中銀預金金利▲0.4%)と量的緩和(2017年末まで月額600億ユーロの債券買入)による極めて緩和的な金融政策を実行しているが、足元ではユーロ圏の消費者物価が原油価格の上昇を受けて、前年比2%程度まで伸び率が高まっており、ECBの金融緩和が早晩縮小方向に向かうとの声も聞かれる。ただし、原油価格上昇によるインフレ率押し上げ効果は一巡するとの見方もあり、食料品やエネルギーを除くコア物価は前年

比1%程度で落ち着いて推移していることから、ECBは当面は緩和的な環境を維持する見通しである。2017年も引き続き金融政策が欧州経済を下支えするものと想定される。

欧州委員会が2月に公表した経済見通しでも、EU28カ国の2017年の成長率は前年比1.8%増と、引き続き緩やかな回復が続く見通しが示されている。ただし、今年は特に欧州主要国で大統領選や議会選挙が相次いで予定されており、昨年11月の米大統領選でのトランプ候補勝利によって勢いついた保護主義の流れが各国で拡大すると、市場の混乱を伴い、経済を下押しする可能性があり、留意が必要である。

足元では、3月29日に英国がEU側へ正式にEU離脱を申請、リスボン条約50条に基づき、今後、EU離脱の条件や離脱後の貿易協定などについて、2年間の交渉が始まることになる。交渉に先立ち、メイ首相は1月に、「移民制限など英国の権限回復」を「EU単一市場」よりも優先する基本方針を既に表明しているが、EU離脱後の具体的な姿はまだ示されていない。対

するEU側は4つの自由(貿易、サービス、資本、人の移動)の一体の基本原則を堅持する強硬姿勢を崩しておらず、英国の単一市場アクセス権や金融機関の単一パスポートの獲得はハードルが高い。

最終的な交渉の帰結については、現在のところ不透明な要素が多いものの、EU・英国の双方が歩み寄り、2年間で

図1 EU28カ国の実質GDP成長率  
(暦年、需要項目別寄与度分解)

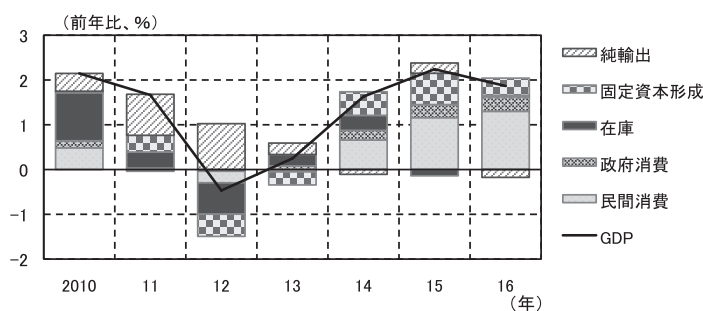
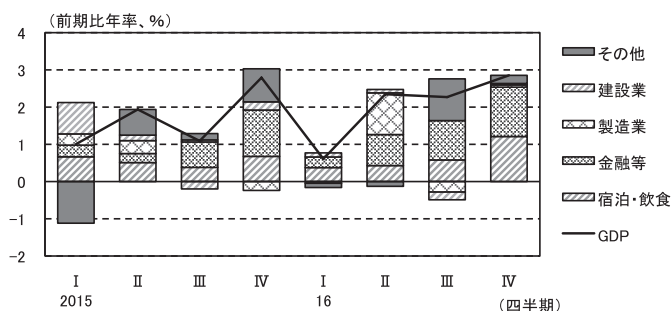


図2 英国の実質GDP成長率  
(四半期、業種別寄与度分解)



(備考) 英国家統計局より DBJ 作成

何らかの合意に至るという見方も多く、限定的な単一市場アクセス権は可能との楽観的な見方も存在する。しかし、交渉期間は2年だがEU各国の承認に半年程度を要するため、1年半で合意に至るハードルは高い。交渉が決裂し2年間で合意に至らず期限を迎えると、英国とEUの貿易はWTOルールへ強制移行し、グローバルサプライチェーンへの影響や輸出の下押し、企業の海外流出といった悪影響が顕在化するハードブレグジットシナリオも想定される。また2年間で交渉がまとまらない場合、期限の延長は可能だが、全EU加盟国(英国を除く27ヵ国)の承認が必要となるため、やはりハードルはかなり高いと言えよう。

英国経済に目を向けると、2016年10～12月期の実質GDPは前期比年率2.9%増と成長率は高まっており、EU離脱の決定が今のところ経済の落ち込みに直結しているわけではない。背景にはポンド安が進んだことで、観光需要が増加し、宿泊・飲食サービスの盛り上がりで経済に追い風となっている。しかし、ポンド安の悪影響も見られる。昨年夏以降、輸入品の値上がりでインフレ圧力が高まり、実質賃金の伸びを制約し始めており、EUとの交渉次第ではポンド安がさらに進行し、消費を下押しする可能性が懸念される。

他方、他の欧州主要国では、4、5月実施のフランスの大統領選に注目が集まる。極右政党・

国民戦線のルペン氏は、移民受入制限に加え、ユーロからの脱退、EU離脱の是非を問う国民投票の実施など過激な公約を掲げており、ルペン氏当選による保護主義への警戒が高まっている。本稿執筆段階の世論調査では、前経済産業デジタル相のマクロン氏がルペン氏に決戦投票の末、勝利するとの見方が有力だが、昨年の英国の国民投票や米大統領選のように事前の世論調査がふたを開けてみると大きく外れる可能性もあり、予断を許さない。

また9月実施予定のドイツ下院選挙では、移民政策での国民の不満を受け、4選を目指すメルケル首相に暗雲が立ちこめている。世論調査では、メルケル首相の与党キリスト教社会・民主同盟(中道右派)の支持率は依然トップだが、連立与党を組む社会民主党(中道左派)と拮抗しつつあり、選挙で社会民主党が第一党を取った場合には、他の左派政党と連立政権を目指す可能性が取りざたされている。仮にメルケル首相が敗れても、社会民主党は中道勢力のため極端な政策転換はないものと予想されるが、欧州はメルケル首相という支柱を失い、EU全体の政治秩序が転換を迫られる可能性に留意が必要となる。また反移民や反EUを掲げ台頭してきた政党・ドイツのための選択枝の支持率は、以前に比べると勢いを失いつつあるものの、選挙時期までに再び勢力を盛り返す可能性も残っている。

以上、見てきたように、欧州経済は引き続き緩やかな回復を続けるとみられるが、2017年は欧州主要国の政治リスクが経済の下押し要因となりうる。今後の各国の政局は依然予断を許さず、保護主義勢力が台頭した場合には、欧州だけでなく、世界経済全体を巻き込んだ政策の転換や市場の混乱につながる可能性があり、その動向には留意が必要となる。

# 北海道における自動運転技術の開発拠点化を考える

株式会社日本政策投資銀行  
北海道支店次長 西山健介

自動運転が、世界的に大きな注目を集めている。日本でも、ADAS（先進運転支援システム）を搭載した新型モデル発表が続いており、現実的な話題となってきた。本稿は、米国ミシガン州デトロイト地域の先行事例等を参考に、テストコースや公道走行試験の観点から、「北海道における自動運転技術の開発拠点化の可能性やポイント」について考察したものである。まず、米国ミシガン州デトロイト地域の先行事例等から、主に4つの示唆を得た。①米国では雪道を含む冬の環境下で自動走行試験を実施、②ミシガン州運輸局やミシガン大学等が主導し、「先行技術開発・学術研究」（Mcity）、「実用化技術の検証と認証取得」（ACM）、「公道試験」（MDOT Connected Corridor）の三層構造で自動走行試験を促進、産学連携・人材育成も積極的に展開、③米国運輸省道路交通安全局による基準・ルールのガイドライン化、さらにG7・国連WP29での国

際調和の動き、④米国ではライドシェア・トラック分野で自動運転へのニーズが強い、の4つである。

一方、北海道では、2016年6月、北海道庁が中心となり産学官連携組織である「北海道自動車安全技術検討会議」が設置された。自動運転の実証試験に関するワンストップ窓口を開設、広大な土地や寒冷な気候を活かした多様な実証試験モードや道内大学等の寒冷地固有の技術研究の情報を自動車メーカーや部品メーカー等に提供し、北海道の強みを活かした開発拠点化に向けた動きに着手している。

今後、北海道が開発拠点化を実現して

（図表1）米国ミシガン州における取り組み

|                         | 種別     | 主な目的          |
|-------------------------|--------|---------------|
| Mcity                   | テストコース | 先行技術開発・学術研究   |
| ACM                     |        | 実用化技術の検証・認証取得 |
| MDOT Connected Corridor | 公道試験場  | 路車間等通信技術の検証   |

（出所）MTC（Mobility Transformation Center）HP等より作成

（図表2）Mcityの概要

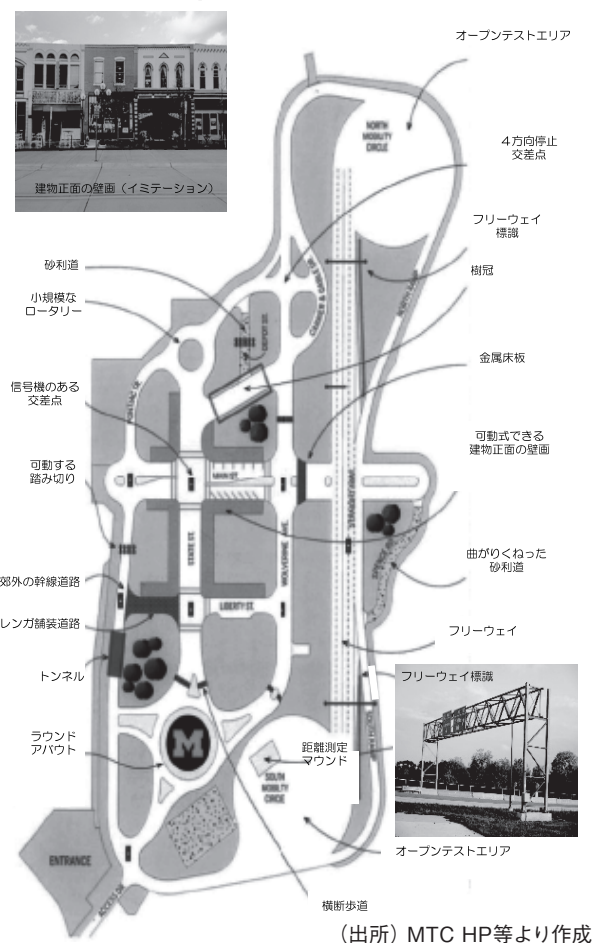
|             |                                                           |                                                           |
|-------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 保有機関        |                                                           | MTC                                                       |
| 稼働開始        |                                                           | 2015年7月                                                   |
| 立地          |                                                           | ミシガン大学ノースキャンパス内                                           |
| 面積          |                                                           | 約13ha（東京ドーム2.8個分）                                         |
| 総工費         |                                                           | 約10百万ドル（約10億円）                                            |
| MTC<br>参画機関 | 政府・<br>公的機関                                               | 米国運輸省(USDOT)、MDOT、アナーバー市（ミシガン州）、ミシガン州経済開発団体(MDEC)等        |
|             | 学術機関                                                      | ミシガン大学、Texas A&M Transportation Institute (TTI) 等         |
|             | 産業界                                                       | MTC Leadership Circle                                     |
|             |                                                           | デンソー、ホンダ、日産、トヨタ、BMW、Ford、GM、LG電子、インテル、デルファイ、ボッシュ、ペライゾン他多数 |
|             |                                                           | MTC Affiliate Member                                      |
|             | 日立製作所、住友電気、スバル、ルネサス、パナソニック、3M、Autoliv、シエル、ZFTRW、ZipCar他多数 |                                                           |

（出所）MTC HP等より作成

いくためには、米国先行事例の4つの示唆に対し、日本の自動車業界のニーズ等を捉えながら、①北海道の潜在力や優位性（道内28のテストコース等の存在）、②日本版 Mcity・ACM・MDOT Connected Corridor（共用テストコース＋公道モデルコース）の誘致・付加価値づけ、③北海道の地方創生の視点から社会実証試験事業を誘致・促進するなどを検討・実施していくことがポイントになると考える。

本稿詳細は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/hokkaido/>）の「自動運転開発をめぐる国内外の動向～北海道における自動運転技術の開発拠点化を考える～」参照。

（図表3）Mcity のテストコース概要



## 製造事業所の皆様へ

経済産業省

経済産業省では、工業統計調査を平成29年6月1日現在で実施します。本調査は、製造業を営む事業所を対象に1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。

調査をお願いする製造事業所には、本年5月中旬から6月にかけて、調査票を統計調査員が持ってお伺いするか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は保護されますので、正確な記入をお願いします。



**工業統計調査**  
皆様のご回答をお願いします。



# 工業会業務レポート

## 委員会活動

### 総務部

#### ●業務報告〔2/16～4/15〕

3月16日 正副会長等打合せ会、理事会 平成29年度事業計画（案）及び予算（案）、取引適正化に向けた自主行動計画他 メルパルク東京

#### ●行事予定〔5/16～7/15〕

5月25日 通常総会 平成28年度事業報告・決算、会費規程の整備、平成29年度事業計画・予算他 経団連会館

### 業務部

#### ●業務報告〔2/16～4/15〕

2月21日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー（大阪）「自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー」を大阪で開催した。テーマ：下請中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の改正等について 講師：経済産業省 近畿経済産業局下請室 吉田室長補佐 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイドラインの改定について 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：下請法の留意点について 講師：大東弁護士 様 TAC梅田校

2月22日 経営調査部会 平成28年度第3四半期自動車部品工業の経営動向について検討を行った。部品会館

2月23日 海外子会社人材受入円滑化検討WG 活動報告会 これまでのWG活動成果の報告会を開催した。（1）WGの活動成果報告 ①海外子会社人材受入に関する現行制度の分析・整理と企業の成功・失敗事例の紹介 講師：海外子会社人材受入円滑化検討WG 座長 加藤智幸 様 ②WGメンバーによる事例紹介（外国人技能実習制度の活用） 講師：(株)エクセディ 総務部長 兼 U総務部長 金谷直樹 様 （2）専門家からのアドバイス紹介 講師：デロイトトーマツ税理士法人 様 部品会館

2月24日 総務委員会運営幹事会 3月10日の総務委員会の運営について検討を行った。(株)デンソー本社

2月27日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー（仙台）「自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー」を仙台で開催した。テーマ：下請中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の改正等について 講師：中小企業庁 取引課 岩瀬係長 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイドラインの改定について 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：下請法の留意点について 講師：大東弁護士 様 TAC仙台校

2月28日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー（浜松）「自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー」を浜松で開催した。テーマ：

下請中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の改正等について 講師：中小企業庁 取引課 岩瀬係長 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイドラインの改定について 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：下請法の留意点について 講師：大東弁護士 様 浜松アクタワー

3月1日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー（名古屋）「自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー」を名古屋で開催した。テーマ：下請中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の改正等について 講師：中小企業庁 取引課 松崎係長 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイドラインの改定について 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 ②下請法の留意点について 講師：大東弁護士 様 ウィンクあいち

3月3日 調達・生産部会 3月10日の総務委員会に提案する自主行動計画の最終版について、検討を行った。部品会館

3月6日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー（太田）「自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー」を太田で開催した。テーマ：下請中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の改正等について 講師：中小企業庁 取引課 安東課長 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイドラインの改定について 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：下請法の留意点について 講師：大東弁護士 様 太田商工会議所

3月8日 中小企業等経営強化法説明会（名古屋）中小企業支援制度（中小企業等経営強化法等）の活用促進に向けた説明会を名古屋で開催した。テーマ：取引適正化の取組みに関するご紹介 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：中小企業等経営強化法を中心とした生産性向上支援策 講師：中小企業庁事業環境部企画課 平井課長補佐 様 テーマ：(独)中小企業基盤整備機構のご紹介（各種支援制度）講師：(独)中小企業基盤整備機構中部本部経営支援課 堀江課長代理 様 テーマ：中小企業等経営強化法の経営力向上計画の申請書作成の説明・相談 講師：(独)中小企業基盤整備機構中部本部 地域域支援ネットコーディネーター 八田 様、伊藤 様 名古屋栄ビル

3月10日 総務委員会 自主行動計画について検討を行った。部品会館

3月17日 中小企業等経営強化法説明会（東京）中小企業支援制度（中小企業等経営強化法等）の活用促進に向けた説明会を東京で開催した。テーマ：取引適正化の取組みに関するご紹介 講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：中小企業等経営強化法を中心とした生産性向上支援策 講師：中小企業庁事業環境部企画課 平井課

- 長補佐 様 テーマ：(独) 中小企業基盤整備機構  
のご紹介(各種支援制度) 講師：(独) 中小企業  
基盤整備機構関東本部経営支援部経営支援課 中村  
主任 様 テーマ：中小企業等経営強化法の経営力  
向上計画の申請書作成の説明・相談 講師：(独)  
中小企業基盤整備機構中部本部 地域支援ネッ  
トコーディネーター 古川 様、斎藤 様 部品会館
- 3月21日 本部補修部品用品委員会/補修部品用品研究会講演  
会 これからの車づくり等について、講演会を開  
催した。 テーマ：これからの車づくりに期待さ  
れるもの等自動車ユーザーの求めるものとは ～  
燃費、安全、デザイン、自動運転、各自動車メーカ  
の動向、今後のユーザーの動き等について～ 講  
師：モータージャーナリスト 岡崎五朗 様 日  
本赤十字社ビル
- 3月22日 中小企業等経営強化法説明会(大阪) 中小企業支  
援制度(中小企業等経営強化法等)の活用促進に  
向けた説明会を大阪で開催した。 テーマ：取引  
適正化の取組みに関するご紹介 講師：経済産業  
省製造産業局自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：  
中小企業等経営強化法を中心とした生産性向上支  
援策 講師：中小企業庁事業環境部企画課 氏家係  
長 様 テーマ：(独) 中小企業基盤整備機構のご  
紹介(各種支援制度) 講師：(中小企業基盤整備  
機構近畿本部経営支援課 能登課長代理 様 テー  
マ：中小企業等経営強化法の経営力向上計画の申  
請書作成の説明・相談 講師：(独) 中小企業基盤  
整備機構中部本部 地域支援ネットコーディネ  
ーター 八田 様、伊藤 様 日赤赤十字大阪支部
- 3月23日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー  
(倉敷)「自動車産業適正取引ガイドライン・下請  
法 セミナー」を倉敷で開催した。 テーマ：下請  
中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の  
改正等について 講師：中小企業庁 取引課 田邊  
課長補佐 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイ  
ドラインの改定について 講師：経済産業省 製造  
産業局 自動車課 太田課長補佐 様 ②下請法の  
留意点について 講師：大東弁護士 様 倉敷商  
工会議所
- 3月23日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー  
(広島)「自動車産業適正取引ガイドライン・下請  
法 セミナー」を広島で開催した。 テーマ：下請  
中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の  
改正等について 講師：中小企業庁 取引課 田邊  
課長補佐 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイ  
ドラインの改定について 講師：経済産業省 製造  
産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：下  
請法の留意点について 講師：大東弁護士 様  
広島県情報プラザ
- 3月24日 自動車産業適正取引ガイドライン・下請法セミナー  
(福岡)「自動車産業適正取引ガイドライン・下請  
法 セミナー」を福岡で開催した。 テーマ：下請  
中小企業振興法・振興基準及び下請法運用基準の  
改正等について 講師：中小企業庁 取引課 田邊

- 課長補佐 様 テーマ：自動車産業適正取引ガイ  
ドラインの改定について 講師：経済産業省 製造  
産業局 自動車課 太田課長補佐 様 テーマ：下請  
法の留意点について 講師：大東弁護士 様 T  
A C福岡校岡
- 4月12日 総務委員会運営幹事会 法務、コンプライアンス  
活動の充実について検討を行った。 部品会館

## ●行事予定(5/16～7/15)

- 5月26日 経営調査部会 部品会館  
5月30日 総務委員会運営幹事会 部品会館  
6月9日 総務委員会 部品会館  
7月11日 経営調査部会 講演会 くるまプラザ

## 国際部

### ●業務報告(2/16～4/15)

- 2月17日 FTA・通商部会 1.最近の通商動向 2.本年度事  
業の進捗 3.EPA取り組み事例研究 矢崎総業株  
式会社 部品会館
- 3月8日 国際委員会 1.最近の情勢について 2.来年度の事  
業運営について 3.北米事務所運営について 4.本  
年度事業の進捗 5.トランプ政権の経済政策の見  
通しについて 部品会館
- 3月24日 知的財産権部会 1.関係官庁からの知財関連情報  
報告 2.ASEAN(タイ)模倣品流通調査結果報告  
ラウスタイランド 3.その他
- 3月29日 日韓自動車部品工業協議会 会長会合 ソウル

### ●行事予定(5/16～7/15)

- 5月17日 知的財産権部会 1.関係官庁からの知財関連情報  
報告 2.知財戦略についての講演 日本電気株式  
会社 知的財産本部開発推進部長 友部実氏(予定)  
3.その他 くるまプラザ
- 7月7日 国際委員会 1.最近の情勢について 2.本年度事業  
の進捗 3.その他 4.国別研究 部品会館

## 関東支部

### ●業務報告(2/16～4/15)

- 2月20日 経営研究会(講演会) テーマ「株式会社ケーヒン  
が実践してきた『企業に大切なBCM展開』」 講師  
(株)ケーヒン BCM推進室 室長 春田浩司様 経  
団連会館
- 2月24日 企画部会 ①平成28年度関東支部事業評価につい  
て ②平成29年度事業計画(案)について (株)ファ  
ルテック 北関東工場
- 3月6日 リサイクル研究会(工場見学会) ①会社/工場概  
要説明 ②省エネ活動の取り組み説明 ③工場見  
学 (株)ブリヂストン栃木工場
- 3月14日 運営委員会 ①平成28年度関東支部事業報告(仮)  
及び収支決算(仮) ②平成29年度関東支部事業計  
画(案)及び収支予算(案) ③関東支部推薦本部  
理事・監事について ④平成29年度関東支部通常年

- 次会の開催について 八芳園
- 3月14日 講演会 テーマ「つながる工場による新しいものづくり～日本版インダストリー4.0の可能性～」講師 法政大学 デザイン工学部 システムデザイン学科 教授/インダストリアル・バリューチェーン・イニシアチブ (IVI) 理事長 西岡靖之様
- 3月21日 補修部品用品研究会講演会(本部補修部品用品委員会共催) テーマ「これからの車づくりに期待されるもの等 自動車ユーザーの求めるものとは」講師 モータージャーナリスト 岡崎五朗様 日本赤十字社ビル
- 3月27日 経営研究会幹事会 ①平成28年度事業の振り返り ②平成29年度事業計画 自動車部品会館

#### ●行事予定 [5/16 ~ 7/15]

- 5月18日 工場見学会 事例講演①「IoTを活用したモノづくり革新～e-F@ctory～」(三菱電機) 事例講演②「NECの考えるIoT時代のものづくりについて」(NEC) 三菱電機㈱名古屋製作所 シーケンサ製造工場の見学 三菱電機㈱名古屋製作所 FAコミュニケーションセンター
- 5月25日 運営委員会 1. 平成28年度関東支部事業報告(案)及び収支決算(案)について(3月の運営委員会以降に実施した事業報告及び確定した収支決算について) 2. 関東支部推薦本部理事退任に伴う補充推薦候補者の選任について(報告) 経団連会館
- 5月25日 通常年次会 1. 平成28年度事業報告(案)及び収支決算(案)の承認について 2. 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について 3. 関東支部推薦本部理事退任に伴う補充推薦候補者の選任について 議案外: 優良従業員表彰 議案外: 部工会適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画のフォローアップについて 経団連会館
- 6月30日 講演会 テーマ「ドイツの政治経済概況(仮)」講師 JETRO 企画部企画課 課長代理 木場亮様 テーマ「シェフラー・ジャパンが取り組む日欧技術協働のものづくり(仮)」講師 シェフラー・ジャパン(株) マネジング・ディレクター兼代表取締役 四元伸三様 経団連会館

### 中部支部

#### ●業務報告 [2/16 ~ 4/15]

- 2月17日 講演会(中小企業部会)「戦国武将から学ぶ現代ビジネス・企業経営」静岡大学 小和田名誉教授 名古屋栄ビル
- 3月1日 正副支部長打合せ会 平成29年度支部事業計画 名古屋市内
- 3月2~3日 ISO/TS16949 内部監査員セミナー 刈谷市
- 3月10日 講演会(環境部会)「コニカミノルタの環境経営」コニカミノルタ 高橋壮模氏 名古屋栄ビル
- 4月5日 I A T F 16949: 2016 規格解説セミナー 刈谷市

- 4月11日 支部業務監査 H28年度事業報告・決算 H29年度事業計画・予算 中部支部

#### ●行事予定 [5/16 ~ 7/15]

- 5月18日 平成29年度通常年次会 平成28年度事業報告・決算承認 平成29年度事業計画・予算承認 理事辞任に伴う改選 名古屋市内
- 6月13日 活動計画検討会(環境部会) 2017年度活動計画の検討と策定 名古屋栄ビル
- 6月20日 活動計画検討会(中小企業部会) 2017年度活動計画の検討と策定 名古屋栄ビル

### 関西支部

#### ●業務報告 [2/16 ~ 4/15]

- 2月17日 補修部品分科会 工場見学会 ソフトブレン工業(株) / エイケン工業(株)
- 2月27日 品質分科会 勉強会「生活機能レジリエントを実現する産業革命～データ・社会課題・知性分散社会のイノベーション～」(国研) 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 主席研究員 西田佳史氏 ホテルグランヴィア岡山
- 3月2日 第4回正副支部長会 第3回運営委員会 情報交換会 講演会 懇親会「新型プリウス、プリウスPHEVの開発について」トヨタ自動車(株) 常務理事 安部静生氏 ホテルグランヴィア岡山
- 3月21日 総務分科会 工場見学会 (株) エクセディ・奈良
- 3月29日 技術分科会 勉強会「日産の電動化と知能化の取り組み」「伊勢志摩サミット・軽井沢交通大臣会合における自動運転乗車」日産自動車(株) グローバル技術渉外部 技術顧問 福島正夫氏 ホテルグランヴィア岡山
- 4月14日 技術分科会 講演会「生活を支援するロボット技術」(独) 産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター チーム長 松本吉央氏 ホテルモントレ京都

#### ●行事予定 [5/16 ~ 7/15]

- 5月29日 生産分科会 工場見学会 (株) ヨロズ大分
- 6月6日 経営研修会勉強会「自社のリスクが見える化しよう」損保ジャパン日本興亜(株) ERM事業部長 原敬徳氏 / グループリーダー 横山歩氏 ホテルグランヴィア岡山
- 6月26日 技術分科会 講演会「MQB&自動運転」元VW ハックンベルク氏 京大百周年記念ホール
- 6月28日 補修部品分科会 工場見学会
- 7月7日 総務分科会 委員会・講演会

## 技術関係委員会等の開催状況 (2/16～4/15)

### 1. 総合技術委員会

| 日 時   | 会 議 名         | 開催場所    | 概 要                                              |
|-------|---------------|---------|--------------------------------------------------|
| 3月3日  | 国際標準検討部会      | 自動車部品会館 | 1) 自工会の状況と今後の対応について                              |
| 3月22日 | 操舵系技術部会(仮称)   | 自動車部品会館 | 1) 設立の経緯について<br>2) 部会正式名称、部会長の選任<br>3) 活動計画案     |
|       | センサー類技術部会(仮称) | 自動車部品会館 | 1) 設立の経緯について<br>2) 部会正式名称、部会長の選任<br>3) 活動計画案     |
| 3月31日 | 自動車運転基準検討部会   | 自動車部品会館 | 1) 設立の経緯について<br>2) 活動計画案<br>3) JASIC自動車運転基準研究所報告 |

### 2. 基準認証部会関係

| 日 時           | 会 議 名                | 開催場所                          | 概 要                                                                                                       |
|---------------|----------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月12日<br>～18日 | 基準認証部会<br>インドミッション   | インド                           | 1) インド認証機関との情報交換                                                                                          |
| 2月16日<br>～25日 | 基準認証部会<br>ASEANミッション | ASEAN<br>(ベトナム、タイ、<br>インドネシア) | 1) VAMA、MOT/VR打合せ(ベトナム)<br>2) DLT、TISI、TAIA、TAPMA打合せ(タイ)<br>3) JASIC、GIAMM、GAIKINDO、GIAMM、DGLT打合せ(インドネシア) |
| 3月8日          | 基準認証部会 ASEAN-WG      | 自動車部品会館                       | 1) ASEANミッション報告書まとめ                                                                                       |
| 3月13日         | 基準認証部会 中国WG          | 自動車部品会館                       | 1) CQC来日交流会の結果報告<br>2) CQCからの質問事項について                                                                     |
| 3月15日         | 基準認証部会               | 自動車部品会館                       | 1) 各活動WGの状況報告<br>2) インドミッション・ASEANミッション報告<br>3) 次年度活動計画<br>4) その他 JASIC情報ほか                               |
| 3月29日         | 基準認証部会 インドWG         | 自動車部品会館                       | 1) インドミッション報告                                                                                             |
|               | 基準認証部会 ASEAN-WG      | 自動車部品会館                       | 1) ASEANミッション報告                                                                                           |

### 3. IT対応委員会関係

| 日 時   | 会 議 名        | 開催場所    | 概 要                                                                                                              |
|-------|--------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月20日 | DE促進部会幹事会    | 自動車部品会館 | 1) 活動日程確認と前回宿題確認<br>2) 上位委員会・幹事会、JAMA等の情報共有<br>3) WG活動の課題と展開事項の確認<br>4) 重要検討項目論議<br>5) その他、連絡事項<br>6) 部会での通達内容確認 |
|       | DE促進部会       | 自動車部品会館 | 1) 上位委員会・幹事会検討事項報告<br>2) WG月次進捗報告について<br>3) その他(困り事相談、情報交換等)                                                     |
| 3月6日  | DE促進部会幹事会    | 自動車部品会館 | 1) 活動日程確認と前回宿題確認<br>2) 上位委員会・幹事会、JAMA等の情報共有<br>3) WG活動の課題と展開事項の確認<br>4) 重要検討項目論議<br>5) その他、連絡事項<br>6) 部会での通達内容確認 |
| 3月22日 | EDI部会AIDC-WG | 自動車部品会館 | 1) 部工会AIDC-WG H29年度メンバー顔合わせ<br>2) AIDC-WG活動経緯説明<br>3) H29年度 自工会活動協力要請内容共有                                        |

|             |            |                     |                                                                                                                                       |
|-------------|------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3月24日       | DE促進部会     | 自動車部品会館             | 1) 上位委員会・幹事会検討事項報告<br>2) WG月次進捗報告について<br>3) その他（困り事相談、情報交換等）                                                                          |
|             | DE促進部会 講演会 | 自動車部品会館             | 1) リバースエンジニアリングの最新動向/実機デモ(トヨタケララム様)                                                                                                   |
| 4月6日        | DE促進部会幹事会  | 姫路・西はりま地<br>場産業センター | 1) 活動日程確認と前回宿題確認<br>2) 上位委員会・幹事会、JAMA等の情報共有<br>3) WG活動の課題と展開事項の確認<br>4) 重要検討項目論議<br>5) その他、連絡事項<br>6) 部会での通達内容確認                      |
| 4月6日<br>～7日 | DE促進部会     | 姫路・西はりま地<br>場産業センター | 1) 上位委員会報告<br>2) 幹事会検討事項の討議<br>2) 月次進捗報告<br>3) その他（困り事相談、情報交換等）                                                                       |
| 4月13日       | EDI部会      | 自動車部品会館             | 1) IT対応委員会、総合技術委員会の報告内容<br>について<br>2) H28年度EDI部会活動実績について<br>3) H29年度EDI部会活動テーマ案について<br>4) H29年5月 Odette Conference並びにJAIF会議への委員派遣について |
|             | IT対応委員会幹事会 | 自動車部品会館             | 同上                                                                                                                                    |

#### 4. 環境対応委員会関係

| 日 時   | 会 議 名          | 開催場所        | 概 要                                                                                  |
|-------|----------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月17日 | 物質調査システム分科会幹事会 | 自動車部品会館     | 1) GADSL改正<br>2) JIS改正<br>3) IMDS001aドラフト作成                                          |
| 2月20日 | LCA分科会DB WG    | 刈谷市産業振興センター | 1) 16年度計画について<br>2) 材料質量算出手法について<br>3) 今後の進め方                                        |
| 2月21日 | 省エネ見学会         | アズビル(藤沢)    | 1) 会社概要<br>2) 省エネ事例紹介<br>3) 現場見学                                                     |
| 2月2日  | 製品環境部会幹事会      | 自動車部品会館     | 1) 製品環境部会関連分科会・結果報告<br>2) 部工会・総合技術委員会・結果報告<br>3) J-IMDS-SC会議・結果報告                    |
| 2月23日 | 渉外担当幹事会        | 自動車部品会館     | 1) 渉外担当幹事会の役割<br>2) 環境情報誌執筆について                                                      |
|       | 製品環境部会         | 自動車部品会館     | 1) 製品環境部会関連分科会・結果報告<br>2) 部工会・総合技術委員会・結果報告<br>3) J-IMDS-SC会議・結果報告                    |
|       | 環境保全分科会        | 自動車部品会館     | 1) 環境法規制対応ガイダンス改訂版<br>(最終版)について<br>2) 「水資源の有効利用」 についての取り組み方向性について<br>3) 日本の法規制動向について |
| 3月7日  | LCA分科会幹事会      | 自動車部品会館     | 1) 2017年度活動について<br>2) 各WG活動報告                                                        |
|       | LCA分科会         | 自動車部品会館     | 1) LCA分科会組織<br>2) 対応事項と計画・進捗<br>3) LCAフォーラム表彰                                        |
| 3月9日  | 温暖化防止推進分科会     | 自動車部品会館     | 1) 分科会全体日程<br>2) CO2削減シナリオTF<br>3) 事例・情報展開TF                                         |

|       |                      |                            |                                                                                            |
|-------|----------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | 講演会および省エネ事例説明会       | 自動車部品会館                    | 1) 地球温暖化対策の現状と見通し<br>2) JAPIA会員の省エネ事例説明会                                                   |
| 3月13日 | 工場用化学物質説明会<br>(東京)   | スタンダード会議<br>室五反田ソニー通<br>り店 | 1) JAPIA活動組織と活動の紹介<br>2) 海外環境法規分析 各国のGHS運用状況<br>と注意すべき点<br>3) 海外版グリーン調達ガイドライン作成の<br>ための解説書 |
| 3月14日 | 生産環境部会               | 刈谷産業振興会館                   | 1) 環境対応委員会、分科会の年度活動状況報告、審議<br>2) 事務局情報、その他                                                 |
| 3月14日 | 生産環境部会               | 刈谷産業振興会館                   | 1) 各部会・分科会の年度活動状況報告、審議<br>2) 事務局情報、その他                                                     |
| 3月16日 | 工場用化学物質説明会<br>(名古屋)  | 名古屋米ビルディ<br>ング             | 3/13東京会場に同じ                                                                                |
| 3月17日 | 物質調査システム分科会幹<br>事会   | 自動車部品会館                    | 1) JAMAシート6月改正進捗確認<br>2) 物質調査のあり方について<br>3) JAPIA環境情報誌執筆について                               |
| 3月21日 | 鉛規制対応分科会幹事会          | 自動車部品会館                    | 1) EU ELV鄭起用除外見直しの最新動向確認<br>2) RoHS適用除外の最新動向確認<br>3) 次回見直しの進め方について                         |
|       | 鉛規制対応分科会全体会          | 自動車部品会館                    | 1) EU ELV適用除外見直しの状況<br>2) EU RoHS適用除外見直しの状況<br>3) 次回適用除外見直しへの対応について                        |
| 3月22日 | 製品環境部会幹事会            | 自動車部品会館                    | 1) 製品環境部会関連分科会・結果報告<br>2) BPA規制に関する関連業界団体の動き<br>3) 新規規制物質に関する打合せ結果                         |
| 3月23日 | 渉外担当幹事会              | 自動車部品会館                    | 1) 環境情報誌の記事内容精査<br>2) CATARC国際フォーラムの進め方<br>3) 新規規制物質に関する打合せ結果                              |
|       | 製品環境部会               | 自動車部品会館                    | 1) 製品環境部会関連分科会・結果報告<br>2) IMDSデータ→CAMDS変換に関する情報展開                                          |
| 4月3日  | 化学物質規制対応分科会幹<br>事会   | 自動車部品会館                    | 1) 16年度の活動の振り返り<br>2) 17年度の計画<br>3) 過去の調査の結果まとめ                                            |
|       | 工場用化学物質分科会<br>法規制調査G | 自動車部品会館                    | 1) 法規制3次スクリーニング<br>2) 法規制2次スクリーニング<br>3) 年間計画の確認                                           |
|       | 工場用化学物質分科会           | 自動車部品会館                    | 1) 17年度の活動計画説明<br>2) 各グループの報告<br>3) GLAPS会議グループの報告                                         |
| 4月14日 | 物質調査システム分科会幹<br>事会   | 自動車部品会館                    | 1) JAMAシート6月改正進捗<br>2) JAPIA環境情報誌執筆<br>3) IMDS001a見直し                                      |
| 4月14日 | 物質調査システム分科会全<br>体会   | 自動車部品会館                    | 1) 2017年GADSL改正解説<br>2) 「JIS Z 7201」改正議論紹介<br>3) Chemistry managerの運用に関する<br>情報交換          |
|       | LCA分科会 使用段階算出<br>WG  | 自動車部品会館                    | 1) 2017年度活動計画<br>2) 算出ツール組込みTFの活動報告                                                        |

## 5. 品目別部会関係

| 日 時         | 会 議 名              | 開催場所                  | 概 要                                                                                                                                   |
|-------------|--------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月20日       | チャイルドシート分科会        | 自動車部品会館               | 1) CRSインフォーマル会議・CRS国内対応会議・報告<br>2) 未認定品チャイルドシート試験について                                                                                 |
| 2月27日       | 車輪技術部会             | 自動車部品会館               | 1) ISO対応について<br>2) JATMA YEAR BOOK R章改正について<br>3) 各国部品認証対応について                                                                        |
| 3月3日        | オイルシール技術部会         | 自動車部品会館               | 1) ISO16589-2:2011が定期見直し検討<br>2) JIS改訂検討                                                                                              |
| 3月3日<br>～4日 | 濾器技術部会             | 滋賀県（ヤンマー<br>びわ工場ほか）   | 1) ISO対応について<br>2) 2017年度活動計画について<br>3) 自技会関連について                                                                                     |
| 3月6日        | 安全装置部会幹事会          | 自動車部品会館               | 1) H28年度部会・分科会・WG活動報告                                                                                                                 |
| 3月7日        | 摩擦材技術部会            | 自動車部品会館               | 1) EuroBrake2017について<br>2) 2017年部会計画<br>3) 2016年部会まとめ<br>4) その他(部会長交代)                                                                |
| 3月10日       | シート部会              | 自動車部品会館               | 1) 第19回シート技術研究発表会開催計画<br>2) 次期正副部会長について                                                                                               |
|             | ランプ部会              | 日比谷図書文化館              | 1) アジアミッション報告<br>2) GTB-WG会議出席報告<br>3) CQC来日交流会報告<br>4) GRE/IWG-SLR日本開催(5/16-18)<br>5) GTB日本開催(2018年5月)<br>6) 今年度活動実績報告<br>7) 来年度活動計画 |
| 3月14日       | シートベルト分科会ダミー<br>WG | 日立パワーソリューションズ<br>(茨城) | 1) マネキン計測<br>2) ダミー比較について                                                                                                             |
| 3月17日       | 電線部会               | 自動車部品会館               | 1) 前回議事録確認について<br>2) ISO19642-1～10 CD投票各国コメント対応審議<br>について<br>3) H29-30年度標準化調査内容検討について<br>4) H29年度活動日程整合                               |
| 3月21日       | シートベルト分科会          | 名古屋駅前モンブラン<br>ホテル     | 1) R16 法規変更点についてのTASSとのディス<br>カッション<br>2) R16で決められている動的試験用マネキンの<br>重点点についてのTASSの対応 ほか                                                 |
| 3月22日       | 車輪技術部会             | 自動車部品会館               | 1) ISO対応について<br>2) JATMA YEAR BOOK R章改正について<br>3) 各国部品認証対応について<br>4) 自技会関連について                                                        |
| 3月23日       | ブレーキホース部会          | 自動車部品会館               | 1) 2016CCC監査対応費用について<br>2) インド認証、中国認証情報について<br>3) 2017年度役員確認、活動計画について                                                                 |
| 3月27日       | エアバッグ分科会           | 自動車部品会館               | 1) 次期分科会長について<br>2) 来年度の活動について                                                                                                        |
| 3月28日       | 警音器部会              | 自動車部品会館               | 1) WP29の結果と騒音分科会での内容報告、及び<br>最終版と和訳版のすり合わせと修正<br>2) H29年度活動概要ならびに会費                                                                   |

|       |                            |                |                                                                                              |
|-------|----------------------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3月29日 | ブローバイフィルター小委員会             | 自動車部品会館        | 1) ラウンドロビンテスト結果報告<br>2) 課題整理、今後の対応について                                                       |
| 3月30日 | チャイルドシート分科会                | 自動車部品会館        | 1) 63回国内対応会議での懸案事項に対応する<br>対応方針調整<br>2) 65回CRSIWG(4/19)派遣要否判断                                |
| 3月31日 | 電線部会                       | 自動車部品会館        | 1) 前回議事録確認について<br>2) ISO19642-1～10 CD投票各国コメント対応審議について<br>3) H29-30年度標準化調査内容検討について            |
| 4月6日  | シートベルト分科会R16マ<br>ネキン精度向上TF | 安保ホール<br>(名古屋) | 1) マネキン計測結果の解析<br>2) 今後の予定                                                                   |
| 4月7日  | クッション性分科会                  | 自動車部品会館        | 1) テック技販 デモ・プレゼン<br>2) H29年度活動計画案の検討                                                         |
| 4月11日 | シートベルト分科会                  | 自動車部品会館        | 1) TASSとの打ち合わせ内容の確認<br>2) カーメーカへのR16法規変更の紹介<br>3) R16法規変更について審査部への対応<br>4) 分科会長変更に伴う引継ぎ事項の確認 |
| 4月14日 | シート部会                      | 自動車部品会館        | 1) H29年度部会活動計画案・予算案<br>2) 第19回シート技術研究発表会開催計画<br>3) 部会合同会議について                                |

## ●行事予定 [5/16～7/15]

| 月 日   | 会合名称など          | 概 要 | 場 所     |
|-------|-----------------|-----|---------|
| 5月23日 | 渉外担当幹事会         |     | 自動車部品会館 |
| //    | 製品環境部会          |     | 自動車部品会館 |
| 5月24日 | 製品環境部会幹事会       |     | 自動車部品会館 |
| 5月25日 | DE促進部会幹事会       |     | 自動車部品会館 |
| //    | DE促進部会          |     | 自動車部品会館 |
| //    | 車輪技術部会          |     | 自動車部品会館 |
| 5月26日 | CATIA/NX合同研究会   |     | ISID-AO |
| 5月29日 | PT熱交換器分科会       |     | 自動車部品会館 |
| 6月14日 | CATIA研究会        |     | DSKK    |
| 6月15日 | DE促進部会幹事会       |     | 自動車部品会館 |
| //    | DE促進部会          |     | 自動車部品会館 |
| 6月16日 | 物質調査システム分科会     |     | 名古屋栄ビル  |
| //    | シート部会合同会議       |     | 自動車部品会館 |
| //    | 電線部会            |     | 自動車部品会館 |
| 6月21日 | 製品環境部会幹事会       |     | 自動車部品会館 |
| 6月22日 | 渉外担当幹事会         |     | 自動車部品会館 |
| //    | 製品環境部会          |     | 自動車部品会館 |
| 6月27日 | 環境対応委員会         |     | 自動車部品会館 |
| 7月3日  | H29年度第1回総合技術委員会 |     | 自動車部品会館 |

# 中部支部 環境部会主催 「トヨタ自動車(株)上郷工場」視察報告

自動車部品工業会 中部支部

環境部会 委員 伊藤裕二（記）

（愛三工業㈱ 安全環境推進センター）

## 1. 日時

2017年2月10日（金） 13：00～15：00

とにより、2013年度比でCO2を年間4500トン低減することができた。

## 2. 視察先

トヨタ自動車株式会社 上郷工場  
（愛知県豊田市大成町1）

## 6. 視察スケジュール

- （1）工場概要説明、（2）省エネ活動紹介、  
（3）現地にて活動事例を見学

## 3. 参加者

中部支部会員企業 14社28名

## 7. 視察内容（現地での活動事例紹介）

### （1）エアーレス対策事例

- ・ワーク冷却用エアーのブロア化
- ・ワーク冷却用のエアーブローを工場エアーから電動ファン化
- ・ワーク表面はスリットタイプ、複雑形状は丸穴タイプとノズルを使い分けすることで、エアーの低減を図った。

## 4. 訪問の狙い

2015年度省エネ大賞の省エネルギーセンター会長賞を受賞したトヨタ自動車(株) 上郷工場の『蒸気レス・エアーレス』を目指した省エネ活動の取り組みを現地視察し、会員各社のこれからの省エネ活動に役立てていく。

### （2）蒸気レス対策事例

- ・小型分散化による送気ロス・非稼働時のロス低減
- ・小型ボイラーの分散化+焼入槽温度設定の見直し
- ・蒸気式エアーカーテンを廃止（寒風があたらないように遮断カーテンを設置）

## 5. 工場の概要について

- ・操業開始：1965年（昭和40年）11月
- ・敷地面積：90万㎡
- ・生產品目：自動車用エンジン
- ・従業員数：3680人（2015年6月 現在）

### （3）コンプレッサーのインライン化

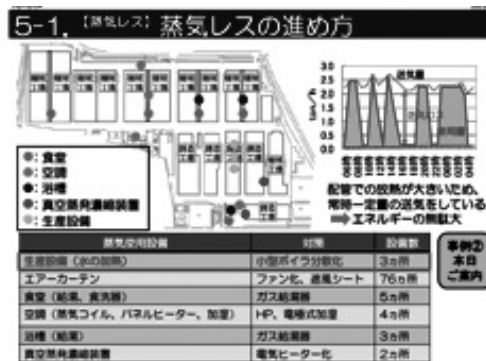
非稼働時のエアー消費削減と送気ロスミニマム化を狙い、37KWのコンプレッサーを工程内に分散設置。エンジンの加工工程ではブロック・ヘッド・カムハウジングなど数種類の部品を作っており、それぞれの部品ライン単位でコンプレッサーの運転・停止が可能なようにコンプレッサーの能力を決定し分散化した。

上郷工場は、鋳造から機械加工・組付け工程を保有するエンジン一貫生産工場であり、グローバル生産拠点のモデル工場として高効率エネルギー供給システムを構築している。

従来の工場では、蒸気・エアーを原動力棟から中央集中で送気をしていたが、送気過程でロスが多く、ライン非稼働時間帯もエネルギー供給を続ける必要があり、ムダが多かった。そこで、生産技術部門・工場と協業で、蒸気レス・エアーレスを推進し、代替技術が困難な設備に関してはエアーの小型化分散供給を実現するこ

その結果、非稼働時のエネルギーを11%削減することができた。

### （4）コンプレッサーの運転時間・送気圧のミ



## ニマム化

送気圧力は低いほど効率よくコンプレッサーを運転できるため、スタンバイ状態のみ高い圧力を保持し、通常ライン稼働時は必要最低圧で送気できるようにコンプレッサーの制御ソフトを開発。

## 8. 所感

今回、上郷工場の『蒸気レス・エアーレス』への取組み活動の事例を見学したが、まさに2015年度省エネ大賞に値する内容であると感銘を受けた。

エアー：△38%・蒸気：△71%の低減効果により、年間4500トンのCO2低減を実現できた背景には、生産技術部門と工場が一体となって協力し活動を推進できたことが大きいと思われる。やはり、一昨年公表された『環境チャレン

ジ2050』の中のひとつである『工場CO2ゼロチャレンジ』への思いが従業員一人一人に浸透し、全社一丸の活動になっているからだ実感した。

私どもの会社も、これにならってCO2低減の中長期目標を掲げ、全社的活動を推進していく必要があると痛感させられる思いである。これからの自社の取組みにぜひ役立てていきたいと思った。

最後に、ご多用の中にもかかわらず、ご対応いただいたトヨタ自動車(株)上郷工場の関係者の皆様には、この場をお借りして、感謝を申し上げます。

# 「ニューヨーク・オートショー」

JAPIA 北米事務所 河島 哲則

ニューヨーク・オートショーへ行ってきました。毎年イースター（復活祭）の時期に大都市ニューヨークのマンハッタン島で開催されるショーへ私はいつもデトロイトの住人の視点で訪れます。

寒い1月のデトロイトで開催されるデトロイト・オートショー（北米国際自動車ショーという大仰なタイトルが付いています）と桜の季節に開催されるニューヨークのショーとの間には天候以外にも決定的な違いがあります。それは観客です。どちらもショーが一般公開される前にメディアにこれから発売する新しいモデルやコンセプトカーを発表しますが、この期間に訪れる観客は皆クルマのプロフェッショナルでありどの都市でもそれほどの違いはありません。しかし一般公開となると話は全く異なります。

デトロイトというのは普段ファミリーレストランで朝食をとっていると隣のテーブルに座ったグループが「V-6 エンジンがターボチャージャー付き直列4気筒に置き換えられるのが困った風潮だ」とか「フォードとシボレーとラムとどのピックアップが一番か」などという議論をしているのが当たり前の風景である街です。マンハッタンではまあそんな場面に出会うことはありません。

つまりデトロイト・オートショーの一般公開日はクルマのことをとてもよく知っていて、しかもデトロイト3の歴史を自ら体験してきた人々が自動車産業は手抜きをせずに良いクルマを造っているかどうか厳しくチェックしに来る場所なのです。

ニューヨーク・オートショーは全く違います。

シカゴもデトロイトとは違うのですがそれでもまだ自動車産業との関係がまだ色濃い場所です。でもニューヨークはクルマを造る側ではなく、買って、乗って、楽しんでもくれる側の人ばかりです。

米国の景気が良いからか、ガソリンが安いからか、トランプ大統領が環境規制など不要という政策を打ち出しているからか、ニューヨーク・オートショーの会場はクロスオーバー SUV とパフォーマンスカーで溢れていました。驚くほど多くの観客が自動車メーカー各社の展示する新モデルやコンセプトカーの周りに溢れていました。米国にはクルマを愛してくれる人はまだまだたくさんいると実感できてとても嬉しくなりました。しかしそれ以上に嬉しかったのは、おそらくおじいちゃんとお父さんと息子だと思われる3世代家族がスバルのブースに飾られた、私が子供の頃日本で人気の高かった、今日の基準ではとても小さい、1968年型スバル360の前でたくさんのスバル車について楽しそうに語り合っていたことです。スバリストというのは本当にとても素敵な人たちだということがよくわかりました。ありがとう、日本人が貧しい時代に一生懸命頑張って生み出したクルマの子孫を愛してくれて。スバルだけでなく日本のクルマ屋さんたちはこれからも世界中の人々に愛されるクルマを、一生懸命作り続けます。

デトロイトでこの嬉しさを味わえるようになれば最高なのですが。

〈完〉

## 行政・団体

### 3月.....

#### ■車両法改正案を閣議決定、燃費改ざんで型式取り消し(4日)

政府は道路運送車両法の改正案を閣議決定した。試験値の改ざんなど、不正な手段で型式指定を受けた場合に指定を取り消せるようにするほか、罰則も強化する。

#### ■自動走行ビジネス検討会、2回目の報告書(15日)

経済産業省、国土交通省による「自動走行ビジネス検討会」は、自動運転技術を一般道で普及させるための報告書を公表。用途を自家用と事業用に分け、自家用は2020年頃から国道や主要地方道で適用を始め、事業用は高齢者向け移動サービスや無人宅配を段階的に広めていく。

#### ■17年度の国内新車販売500万台、自工会見通し(17日)

日本自動車工業会は、2017年度の国内需要が17年度見込みを0.8%下回る500万300台になるとの見通しを発表した。

### 4月.....

#### ■政府、自動運転の基本方針まとめ(3日)

政府は「自動運転制度整備大綱」の基本方針案をまとめた。無人運転を世界に先駆けて実用化するため、国際調和を念頭に置きつつも安全審査を機動的に運用したり、事故時の迅速な被害者救済を先行させたりしてイノベーション(技術革新)を阻害しないようにする。関係省庁や専門家による検討会を今夏にも立ち上げて今年度中に大綱をまとめ、政府が目指す2020年からの実用化に向けて環境を整える。

#### ■軽自動車検査協会の新理事長に清谷氏(4日)

軽自動車検査協会は、新理事長に国土交通省出身の清谷伸吾氏(60)を選んだと発表した。国交省の認可を受け、1日付で就任した。清谷氏は国交省退官後、ヤマハ発動機の顧問を務めていた。

#### ■ドライバー不足と高齢化が進行、自工会調査(11日)

日本自動車工業会が発表した「2016年度普通トラック市場動向調査」によると、運輸業のドライバー不足とドライバーの高齢化がさらに進行していることが分かった。5年後の見通しについては3月に始まった「準中型免許制度」導入の期待感から、前回調査よりも不足感がやや軽減した。

## 国内

### 3月.....

#### ■トヨタ、役員・組織新体制、取締役の人数を9人に削減(2日)

トヨタ自動車は、2017年度の役員・組織体制を発表した。取締役が意思決定と監督を、執行役員が業務執行を行う役割分担を明確にするため、取締役の人数を社外取締役3人を含む9人に削減。6月の株主総会日付で加藤光久、伊地知隆彦の両副社長と小平信

因取締役が退任し、永田理専務役員が取締役に新任される。張富士夫名誉会長も退任する。

#### ■日野社長に下氏(2日)

日野自動車は臨時取締役会でトヨタ自動車の下義生常務役員(58)を社長に迎える人事を内定したと発表した。就任は6月の株主総会後。

#### ■ダイハツ工業、新社長にトヨタから奥平氏(3日)

ダイハツ工業は、6月に開催見込みの株主総会日付でトヨタ自動車の奥平総一郎専務役員を社長に迎える人事を発表した。

#### ■ルネサスエレクトロニクス、EVの効率高める専用回路技術開発(3日)

ルネサスエレクトロニクスは、電気自動車(EV)のエネルギー効率向上につながる車載マイコン用モーターを制御する専用回路技術を開発したと発表した。モーター制御に求められる固定的な処理を専用回路化し、自律的な演算を可能にした。

#### ■プリズトンと住友ゴム、プリウスPHVに新車装着用タイヤが採用(7日)

プリズトンと住友ゴム工業は、トヨタ自動車が発売した新型「プリウスPHV」に新車装着用タイヤがそれぞれ採用されたと発表した。プリズトンは「エコピアEP150」が採用された。独自の材料技術を適用したゴムを採用しており、プリウスPHVの低燃費性能と高い操縦安定性能、快適な乗り心地の実現に貢献するとしている。住友ゴムは「ダンロップ」ブランドの「エナセーブEC300+」が採用された。タイヤの転がり抵抗低減による燃費性能向上に加えて、安全性能や乗り心地を高次元でバランスさせた。

#### ■トピー工業社長に日鉄住金常務の高松氏(8日)

トピー工業は取締役会で新日鉄住金の高松信彦常務執行役員(☒)の社長就任を内定したと発表した。6月下旬、正式に就任する。

#### ■NTN、EV事業を本格展開(9日)

NTNは新領域として「EV(電気自動車)事業」を本格展開し、次世代自動車に対応した各種システム商品の開発を推進する方針を発表した。2018年3月に創業100周年を迎えることから、次の100年を見据えた事業としてEV事業を経営の柱の一つに育成していく。2025年には、EV事業で300億円の売上高を目指す。

#### ■マツダ、先進運転支援4機能を17年度中に標準装備(14日)

マツダは緊急自動ブレーキなどの先進運転支援技術「i-アクティブセンス」を2017年度中に「ロードスター」を除く新世代商品全てに標準装備すると発表した。これまでは一部グレードへの標準装着やオプション設定としていたが、安全・安心へのニーズの高まりに対応し、ほとんどの車種に標準装備化することにした。

#### ■マツダCX-5、11月から防府でも生産(14日)

マツダは、今年11月から防府工場(山口県防府市)で新型「CX-5」の生産を開始すると発表。CX-5の生産は本社工場、中国に続き3拠点目。



**NOK**  
www.nok.co.jp

Always, Everywhere

**NOK株式会社**  
〒105-8585 東京都港区芝大門1丁目12番15号

## クローズアップ

### STマイクロ、ADAS向けカメラに適したCMOSセンサー開発

STマイクロエレクトロニクスは、先進運転支援システム(ADAS)向けの車載カメラに適したCMOSセンサー「HDR LEDフリッカー・フリー」を開発した。カメラで撮影したときに起こりやすいLEDのちらつきをなくせるため、LED化が進む信号やブレーキランプなど正確に認識できる。年内にサンプル出荷を開始して、2018年半ばから量産する予定(3月6日付)



LEDランプなどを正確に認識

### ■三菱自、執行役員を削減(15日)

三菱自動車は役員体制の変更を発表した。執行役員数を従来の38人から27人に削減し、迅速な意思決定を目指す。日産自動車から4月1日付でヴァンサン・コベ常務と藤本直也常務が常務役員に、辻谷隆英理事が執行役員に就任。

### ■日本プラスト、次期社長に永野常務が昇格(21日)

日本プラストは、永野博久常務取締役(58)が社長に昇格する人事を内定したと発表した。6月就任。

### ■トヨタ九州、太陽光発電から水素(22日)

トヨタ自動車九州、豊田通商、福岡県、九電テクノシステムズは、トヨタ自動車九州の宮田工場(福岡県宮若市)で、太陽光発電により水素を製造し、燃料電池(FC)フォークリフトなどに活用する事業を開始したと発表した。2016、17年度に7億3千万円をかけ、設備を整備する。

### ■丸順社長に齊藤専務(23日)

丸順は4月1日付で齊藤浩代表取締役専務(52)が社長に昇格する役員人事を決定したと発表した。今川喜章社長(59)は代表権を返上し、取締役相談役に退く。

### ■盟和産業、飯塚副社長が社長昇格(23日)

盟和産業は、4月1日付で飯塚清副社長執行役員(64)が社長に昇格する人事を発表した。清水俊彦社長(70)は代表権を持つ会長に就く。

### ■ヤフーが自動運転参入、SBドライブに資本参加(27日)

ヤフーは、ソフトバンクグループで自動運転を活用したサービスの事業化を目指しているSBドライブと資本提携し、自動運転分野に本格参入すると発表した。ヤフーはSBドライブが実施した第三者割当増資を約4億9千万円で引き受け、48.6%出資した。

### ■トヨタ自動車、NTTとの提携を発表(28日)

トヨタ自動車とNTTは、コネクテッドカー向けのICT(情報通信技術)基盤の研究開発で協業すると発表した。トヨタの自動車技術とNTTグループ各社のICT技術を組み合わせ、コネクテッドカー分野での技術開発、技術検証、標準化を進める。2018年にコネクテッドカーサービスの実証実験を行う予定。

### ■市光工業、社長兼COOにハイコー氏(30日)

市光工業は、仏ヴァレオグループのサワー・ハイコー氏(48)が社長兼COO(最高執行責任者)に就任する人事を内定したと発表した。6月28日付で就任。

### ■三櫻工業、竹田氏が社長昇格(30日)

三櫻工業は、竹田玄哉副社長最高執行責任者(38)が社長に昇格する役員人事を決定したと発表した。6月21日付で就任。

### ■デンソー、岩手でメーター生産(30日)

デンソーは、完全子会社のデンソー岩手が自動車メーターなどを

生産する工場を新設すると発表した。今年10月に着工し、18年10月に完成、19年5月に生産を開始する。

## 4月.....

### ■富士重工業、「スバル」への社名変更で記念式典(4月1日)

富士重工業は3月31日、本社で社名変更記念式典を開催した。創業100周年に合わせた「SUBARU(スバル)」への社名変更を祝う式典で、社員やグループ関係者など約600人が参加。

### ■トヨタ紡織とタチエス、シート事業で業務提携(4月1日)

トヨタ紡織とタチエスは、シート事業で業務提携することで合意したと発表した。トヨタ系サプライヤーのトヨタ紡織と日産自動車向けを主力とするタチエスが系列メーカーの垣根を越え、新しいシートの開発で協力する。

### ■日清紡ブレーキ社長に石井氏昇格(4月1日)

日清紡ブレーキは、石井靖二副社長(52)が社長に昇格する人事を内定したと発表した。6月下旬に就任。

### ■三菱電機、HV・EV用に世界最小のSiCインバーター開発(7日)

三菱電機は、ハイブリッド車(HV)向けに体積5リットルと世界最小を実現した「超小型SiCインバーター」を開発したと発表した。今後、量産開発に入り、2021年度以降の事業化を目指す。需要が拡大しているHVや電気自動車は、電動化のため、機器設置空間が必要で車内空間を確保するためのインバーターの小型化が求められている。これに対応する超小型SiCインバーターを開発した。

### ■ルネサスが自動運転の開発支援する「オートノミー」を発表(12日)

ルネサスエレクトロニクスは11日、クラウドサービスからセンシング・車両制御まで自動運転の実現を支援するソリューション群のコンセプト「ルネサス・オートノミー」を発表した。複雑な自動運転関連技術について、機能安全を確保しながら、効率的に開発するのを支援する。

### ■日産、ワイヤレスEV充電を20年に実用化へ(24日)

日産自動車は2020年までに電気自動車(EV)用非接触給電(ワイヤレス給電)の実用化を目指す。プラグを差し込まなくてもEVを所定の場所に駐車すれば充電できるシステムで、充電が手軽になることによりEVの利便性が高まるとされている。日産は航続距離を延長するなどEVの性能向上を進める。充電方式についても従来のプラグ方式とワイヤレスとを併用化することにより、EVの使い勝手の向上を図る。

## 3月.....

### ■いすゞ、ケニアのGM子会社を買収(2日)

いすゞ自動車はケニアで商用車生産や輸入販売を手掛けるゼネラル・モーターズ(GM)の子会社を買収すると発表した。GMが保有する全株式57.7%を取得する。

### ■UDトラックス、新型トラック「クローナー」発表(2日)

UDトラックスは、中型トラックの新型車「クローナー」を発表した。ボルボグループと共同開発した新興国向け戦略車で、中型セグメントの多様なビジネスニーズに対応するため幅広いカスタマイズを可能とした

### ■ホンダとGM、米燃料電池会社の経営体制発表(9日)

ホンダとゼネラル・モーターズ(GM)は、1月に折半出資で米ミシガン州デトロイト市に設立した燃料電池システムの製造会社「フューエルセルシステム・マニファクチャリング」の経営体制を発表した。初代社長にはGMのソーヘイブ・ハック氏が、副社長にはホンダ執行役員で米製造子会社社長の神阪知己氏が就く。

### ■スズキ、イグニスを印で生産(21日)

スズキは、インドで小型クロスオーバーSUV「イグニス」の現地生産を開始し、上級チャンネル「ネクサ」店で販売を始めた。イグニスの市場投入は国内、欧州に次ぐもので、ネクサ店の取り扱い車種は「SX4 S-クロス」「バレーノ」と合わせて3車種となる。

### ■トヨタ、印でレクサス展開(27日)

トヨタ自動車は、インドでレクサスブランドの展開を開始したと発表した。専売店4拠点とアフターサービス専門施設4拠点を開設。SUV

の「RX450h」と「LX450d」、セダンの「ES300h」も発売した。2018年にフラッグシップセダン「LS」も投入する。

#### 4月.....

##### ■トヨタ、米でAI活用し材料開発の研究体制強化(1日)

トヨタ自動車の米国子会社トヨタ・リサーチ・インスティテュート(TRI、ギル・プラット最高経営責任者=CEO)は、人工知能(AI)などを活用した材料開発・探索を加速するため、今後4年間に3500万ドル(約39億円)を投じて研究機関、大学、企業と協力すると発表した。AIや機械学習を利用して、次世代車のバッテリー、燃料電池触媒の新材料を探索したり、そのために必要な手法・手順を開発する。

##### ■ボッシュとダイムラーが完全自動運転の開発で提携(6日)

独ロバート・ボッシュとダイムラーは、完全自動運転車の開発で提携すると発表した。自動運転システムに必要なソフトウェアとアルゴリズムを共同で開発し、2020年代初めまでに完全自動運転車の市場投入を目指す。

##### ■トヨタ、米工場に1480億円投資(12日)

トヨタ自動車は米ケンタッキー工場(TMMK)の刷新に13億3千万ドル(約1480億円)を投じると発表した。6月の新型「カムリ」の生産開始に備える。トヨタの米国発のプレスリリースには、トランプ米大統領の「トヨタの決定は、現政権下において、製造業が経済環境の大幅な向上に自信を持っていることを改めて示すものである」とのコメントが添えられた。

##### ■ニューヨークショー開幕、SUVが主役(14日)

米国最大の都市で「2017年ニューヨーク国際自動車ショー」が12日に開幕した。近年の米国市場のトレンドを反映して、SUV色の強いショーとなった。日系自動車メーカーもトヨタ自動車やスバルがSUVのコンセプトモデルを出展し、高い注目を集めた。一方、ホンダは環境対応車「クラリティ」シリーズを世界初公開するなど、18年から始まる環境規制強化に向けたアピールを重視した。

## 市 場

#### 3月.....

##### ■2月、新車販売7.4%増(2日)

日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会が発表した2月の新車販売(登録車、軽自動車合計)は前年同月比7.4%増の48万4724台となり、4カ月連続のプラスだった。登録車が同7.4%増の31万2035台となり、7カ月連続のプラス。軽自動車は同2.0%減の17万2689台となり、2カ月連続のマイナスだった。

##### ■2月の車名別販売、日産デイズが初の2位(7日)

2月の車名別順位(登録車、軽自動車合計)は、ホンダ「N-BOX」が3カ月連続の首位となった。続いて日産「デイズ」がランクインし、総合順位で初の2位を獲得した。3位はトヨタ「プリウス」となり、前月の7位から巻き返した。

##### ■2月の輸入車販売、クリーンDE車好調(7日)

日本自動車輸入組合が発表した2月の外国メーカー車新規登録台数は、クリーンディーゼルエンジン(DE)車の販売シェアが全ての月を通じて過去最高の21.2%だった。全体の登録実績は前年同月比2.5%増の2万3376台となり、4カ月連続のプラス。クリーンDE車の好調が拡販に寄与した。

#### 4月.....

##### ■16年度新車販売、2年ぶり500万台超え(4日)

2016年度の新車販売(登録車、軽自動車合計)は前年度比2.8%増の507万7904台となり、3年ぶりのプラスだった。500万台の大关を回復するのは2年ぶり。16年度は最初に熊本地震や軽の燃費不正問題などの影響があったが、登録車の販売が上期から下期にかけて増加していった。登録車は同7.5%増の335万7933台となり、2年連続のプラス。秋以降、自動車メーカー各社による新車攻勢が続いたことが奏功した。軽は同5.1%減の171万9971台となり、3年連続のマイナスとなった。

##### ■16年度の普通トラック市場、10年ぶりに9万台超(4日)

業界筋がまとめた2016年度の普通トラック(積載4トンクラス以上)販売は、前年度比11.2%増の9万8106台となった。9万台を超えたのは、06年度以来10年ぶり。業界関係者は「大型車はカーゴ系が年間を通して順調に推移したことに加え、後半からは建設系の中型トラックが伸びた」ことが好調の要因とみている。トップの日野自動車と2位のいすゞ自動車のシェアの差は、昨年度の4ポイントから1.5ポイントまで縮まり拮抗した。

##### ■16年度新車販売、プリウスが5年ぶり首位(7日)

2016年度の新車販売の車名別順位(登録車、軽自動車合計)は、トヨタ「プリウス」が5年ぶりの首位となった。上期の市場を引っ張ったプリウスが「昨年度、最も売れたクルマ」となった。2位は2年連続でホンダ「N-BOX」。軽自動車のみランキングでも、2年連続でナンバーワンを獲得した。3位にはトヨタ「アクア」が入った。発売から5年が経過して首位から陥落したが、ベスト3を死守した。下期に登録車の月間順位で3度の首位を獲得した日産「ノート」は、昨年度のトップ10圏外から6位に食い込んだ。

##### ■輸入車販売5.9%増、メルセデスが首位守る(7日)

日本自動車輸入組合(JAIA)が発表した2016年度の外国メーカー車の新規登録台数は、前年度比5.9%増の29万8856台となり、2年連続でプラスだった。登録車に占めるシェアは8.9%で過去3番目。ブランド別は、14ブランドが過去最高を記録した。メルセデス・ベンツが昨年度に続き1位となり、輸入車市場の首位を守った。フォルクスワーゲン(VW)は1999年にブランド別順位の統計を開始して以来、初めて3位に後退した。

## 記者の目

## 製造業とサービス業の連携に注目集まる

自動運転技術をサービスに落とし込む動きが加速している。ソフトバンクグループのSBドライブは、特定のルートを行ったり来たりする「バス」型の自動運転車を利用したサービスの実用化を目指している。3月末には沖縄県で先進モビリティと共同で公道実験を行った。将来的には無人運転で、ドライバー不足や路線バスの収益悪化による交通空白地拡大といった課題解決を目指している。

DeNAとヤマト運輸は共同プロジェクト「ロボネコヤマト」で、営業所から顧客のところまで荷物を運ぶラストワンマイルに自動運転技術を活用しようとしている。こちらも最終的には無人

運転による配送を目標とするが、まずその前段として、顧客自身が荷物を車両から取り出す「非対面サービス」の実証実験を4月から神奈川県藤沢市で始めた。

このようにサービスの開発に取り組む企業は着実に増えてきている。一方で注目したいのが、これらサービス側の企業が既存の自動車メーカーや部品メーカーとどう連携していくかだ。サービスを実現するにも技術がなければ始まらないし、逆にサービスの発想から新たな自動運転の技術や考え方が生まれるかもしれない。業界全体の動きを広く見た開発の重要性が増している。(R)



このダイジェストは2月26日～4月25日まで日刊自動車新聞に掲載した主要な部品関連の記事を抜粋。詳しくは日刊自動車新聞電子版・<http://www.netdenjd.com/> (有料・月額3,500円) で読めます。

# 指標・統計

## ■自動車の生産・販売・輸出（自工会調） .....

### 1. 四輪車の生産実績

(単位：台)

|           | 2016.<br>12月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) | 2017.<br>1月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) |
|-----------|---------------|----------------|-------------|----------------|--------------|----------------|-------------|----------------|
| 乗 用 車     | 681,032       | 104.9          | 7,873,886   | 95.1           | 659,307      | 89.3           | 659,307     | 89.3           |
| 普 通 車     | 415,857       | 115.1          | 4,999,566   | 107.3          | 387,589      | 95.4           | 387,589     | 95.4           |
| 小 型 四 輪 車 | 143,143       | 110.4          | 1,610,486   | 92.0           | 149,145      | 93.6           | 149,145     | 93.6           |
| 軽 四 輪 車   | 122,032       | 77.2           | 1,263,834   | 67.6           | 122,573      | 71.2           | 122,573     | 71.2           |
| ト ラ ッ ク   | 91,370        | 85.2           | 1,201,067   | 88.5           | 92,992       | 84.3           | 92,992      | 84.3           |
| バ ス       | 9,082         | 86.2           | 129,743     | 92.8           | 8,949        | 71.3           | 8,949       | 71.3           |
| 合 計       | 781,484       | 101.9          | 9,204,696   | 94.2           | 761,248      | 88.4           | 761,248     | 88.4           |

### 2. 四輪車の国内販売実績

(単位：台)

|           | 2016.<br>12月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) | 2017.<br>1月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) |
|-----------|---------------|----------------|-------------|----------------|--------------|----------------|-------------|----------------|
| 乗 用 車     | 332,824       | 92.4           | 4,146,458   | 88.2           | 343,424      | 79.2           | 343,424     | 79.2           |
| 普 通 車     | 115,881       | 114.0          | 1,493,475   | 103.9          | 119,767      | 88.0           | 119,767     | 88.0           |
| 小 型 四 輪 車 | 111,885       | 115.6          | 1,308,016   | 91.9           | 109,333      | 85.3           | 109,333     | 85.3           |
| 軽 四 輪 車   | 105,058       | 64.9           | 1,344,967   | 73.1           | 114,324      | 67.5           | 114,324     | 67.5           |
| ト ラ ッ ク   | 63,386        | 89.6           | 808,305     | 94.9           | 57,282       | 92.5           | 57,282      | 92.5           |
| バ ス       | 1,324         | 159.7          | 15,498      | 129.3          | 944          | 162.5          | 944         | 162.5          |
| 合 計       | 397,534       | 92.0           | 4,970,261   | 89.3           | 401,650      | 81.0           | 401,650     | 81.0           |

### 3. 四輪車の輸出実績

(単位：台)

|           | 2016.<br>12月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) | 2017.<br>1月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) |
|-----------|---------------|----------------|-------------|----------------|--------------|----------------|-------------|----------------|
| 乗 用 車     | 381,974       | 117.4          | 4,118,496   | 107.4          | 286,156      | 100.1          | 286,156     | 100.1          |
| 普 通 車     | 356,697       | 115.0          | 3,871,923   | 107.7          | 270,915      | 103.2          | 270,915     | 103.2          |
| 小 型 四 輪 車 | 25,168        | 168.2          | 241,206     | 100.8          | 14,885       | 64.7           | 14,885      | 64.7           |
| 軽 四 輪 車   | 109           | 61.6           | 5,367       | 218.5          | 356          | 193.5          | 356         | 193.5          |
| ト ラ ッ ク   | 30,380        | 70.0           | 383,959     | 78.6           | 23,169       | 77.2           | 23,169      | 77.2           |
| バ ス       | 10,482        | 85.2           | 131,642     | 93.0           | 6,800        | 62.5           | 6,800       | 62.5           |
| 合 計       | 422,836       | 110.9          | 4,634,097   | 103.8          | 316,125      | 96.8           | 316,125     | 96.8           |

## ■自動車部品の生産・輸出・輸入 .....

### 1. 自動車部品の生産（経済産業省「生産動態統計」）

(単位：百万円)

|    |             | 2016.<br>12月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) | 2017.<br>1月分 | 対前年<br>同月比 (%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同期比 (%) |
|----|-------------|---------------|----------------|-------------|----------------|--------------|----------------|-------------|----------------|
| 総括 | 自動車部品 41品目  | 551,060       | 107.3          | 6,419,822   | 101.8          | 524,783      | 105.4          | 524,783     | 105.4          |
|    | 関連自動車部品 9品目 | 120,010       | 105.3          | 1,384,676   | 104.2          | 106,268      | 104.9          | 106,268     | 104.9          |
|    | 内燃機関電装品 5品目 | 33,602        | 97.7           | 389,944     | 95.8           | 29,891       | 98.1           | 29,891      | 98.1           |
|    | 二輪車部品 4品目   | 5,463         | 88.8           | 62,392      | 89.4           | 5,685        | 104.9          | 5,685       | 104.9          |
|    | 合 計         | 710,135       | 106.3          | 8,256,834   | 101.8          | 666,627      | 104.9          | 666,627     | 104.9          |

|                  |    |                         | 2016.<br>12月分 | 対前年<br>同月比(%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同月比(%) |                         | 2017.<br>1月分 | 対前年<br>同月比(%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同月比(%) |
|------------------|----|-------------------------|---------------|---------------|-------------|---------------|-------------------------|--------------|---------------|-------------|---------------|
| 自動車部品<br>(41品目)  | 1  | ピストン                    | 3,244         | 105.7         | 39,939      | 98.8          | ピストン                    | 3,221        | 105.7         | 3,221       | 105.7         |
|                  | 2  | ピストンリング                 | 3,618         | 114.7         | 42,359      | 103.2         | ピストンリング                 | 3,559        | 113.7         | 3,559       | 113.7         |
|                  | 3  | シリンダーライナ                | 1,710         | 103.1         | 19,782      | 96.9          | シリンダーライナ                | 1,634        | 101.4         | 1,634       | 101.4         |
|                  | 4  | 吸気弁及び排気弁                | 3,607         | 105.7         | 41,425      | 104.1         | 吸気弁・排気弁                 | 3,431        | 105.6         | 3,431       | 105.6         |
|                  | 5  | ガスケット                   | 2,396         | 101.9         | 28,482      | 99.6          | ガスケット                   | 2,288        | 100.2         | 2,288       | 100.2         |
|                  | 6  | 燃料ポンプ                   | 1,631         | 101.9         | 17,499      | 87.2          | 燃料ポンプ                   | 1,490        | 106.0         | 1,490       | 106.0         |
|                  | 7  | 空気清浄器                   | 1,944         | 98.2          | 24,102      | 94.6          | 気化器・燃料噴射装置              | 21,090       | 98.0          | 21,090      | 98.0          |
|                  | 8  | 油清浄器                    | 1,748         | 103.5         | 21,512      | 99.6          | 空気清浄器                   | 1,824        | 94.3          | 1,824       | 94.3          |
|                  | 9  | 油ポンプ                    | 2,485         | 105.3         | 29,561      | 97.9          | 油清浄器                    | 1,734        | 102.4         | 1,734       | 102.4         |
|                  | 10 | 水ポンプ                    | 2,069         | 103.4         | 24,608      | 83.9          | 油ポンプ                    | 2,402        | 101.8         | 2,402       | 101.8         |
|                  | 11 | ラジエータ                   | 13,994        | 94.2          | 169,012     | 94.4          | 水ポンプ                    | 1,931        | 100.1         | 1,931       | 100.1         |
|                  | 12 | クラッチ装置                  | 5,027         | 86.0          | 63,078      | 90.1          | 放熱器（ラジエータ）              | 13,558       | 94.3          | 13,558      | 94.3          |
|                  | 13 | 自動変速装置                  | 191,763       | 111.7         | 2,184,959   | 104.1         | クラッチ装置                  | 4,877        | 85.2          | 4,877       | 85.2          |
|                  | 14 | ユニバーサルジョイント             | 3,418         | 120.9         | 37,779      | 100.1         | 自動変速装置                  | 180,876      | 108.9         | 180,876     | 108.9         |
|                  | 15 | プロペラシャフト                | 4,577         | 103.5         | 56,026      | 103.0         | ユニバーサルジョイント             | 3,180        | 108.1         | 3,180       | 108.1         |
|                  | 16 | 車輪                      | 8,076         | 100.9         | 96,624      | 98.2          | プロペラシャフト                | 4,336        | 99.5          | 4,336       | 99.5          |
|                  | 17 | かじ取りハンドル                | 3,463         | 116.6         | 37,704      | 93.6          | 車輪                      | 7,531        | 100.5         | 7,531       | 100.5         |
|                  | 18 | ショックアブソーバ               | 10,190        | 95.0          | 130,746     | 84.7          | かじ取りハンドル                | 3,486        | 123.2         | 3,486       | 123.2         |
|                  | 19 | ブレーキ倍力装置                | 2,224         | 107.1         | 26,315      | 71.6          | ステアリング装置・タイロッド・タイロッドエンド | 35,327       | 105.6         | 35,327      | 105.6         |
|                  | 20 | ブレーキシリンダ                | 4,440         | 119.8         | 47,644      | 109.2         | ショックアブソーバ               | 9,858        | 86.6          | 9,858       | 86.6          |
|                  | 21 | ブレーキパイプ                 | 2,825         | 107.9         | 32,444      | 94.0          | ブレーキ倍力装置                | 2,166        | 100.6         | 2,166       | 100.6         |
|                  | 22 | ブレーキシュー                 | 2,489         | 92.5          | 30,923      | 95.4          | ブレーキシリンダ                | 4,113        | 118.0         | 4,113       | 118.0         |
|                  | 23 | 燃料タンク                   | 6,635         | 95.7          | 83,563      | 105.2         | ブレーキパイプ                 | 2,528        | 101.0         | 2,528       | 101.0         |
|                  | 24 | 排気管及び消音器                | 28,135        | 100.0         | 342,642     | 104.2         | ブレーキシュー                 | 2,398        | 91.6          | 2,398       | 91.6          |
|                  | 25 | 窓わく                     | 2,624         | 106.8         | 30,945      | 52.8          | 電子式ブレーキ制御装置             | 20,207       | 149.0         | 20,207      | 149.0         |
|                  | 26 | ドアヒンジ・ハンドル・ロック          | 6,712         | 101.0         | 82,189      | 105.2         | 燃料タンク(LPG用を除く)          | 6,373        | 93.1          | 6,373       | 93.1          |
|                  | 27 | 窓ガラス開閉装置                | 4,523         | 105.7         | 50,681      | 92.7          | 排気管・消音器                 | 26,930       | 96.7          | 26,930      | 96.7          |
|                  | 28 | シート                     | 72,919        | 103.7         | 807,003     | 103.0         | 窓わく                     | 2,525        | 102.8         | 2,525       | 102.8         |
|                  | 29 | スイッチ類                   | 14,942        | 113.5         | 173,011     | 78.4          | ドアヒンジ・ドアハンドル・ロック        | 6,555        | 103.7         | 6,555       | 103.7         |
|                  | 30 | 計器類                     | 10,498        | 92.8          | 133,253     | 97.4          | 窓ガラス開閉装置                | 4,130        | 102.9         | 4,130       | 102.9         |
|                  | 31 | 窓ふき                     | 7,463         | 109.1         | 83,546      | 94.1          | シート                     | 71,302       | 105.7         | 71,302      | 105.7         |
|                  | 32 | 警音器                     | 1,658         | 115.5         | 17,997      | 79.9          | シートベルト                  | 7,318        | 95.7          | 7,318       | 95.7          |
|                  | 33 | 暖房装置                    | 5,588         | 94.7          | 72,099      | 82.6          | エアバックモジュール              | 8,132        | 109.7         | 8,132       | 109.7         |
|                  | 34 | 電子式ブレーキ制御装置             | 22,722        | 162.7         | 219,044     | 126.2         | スイッチ類                   | 14,495       | 117.4         | 14,495      | 117.4         |
|                  | 35 | シートベルト                  | 7,386         | 95.5          | 149,368     | 151.7         | 計器類                     | 9,565        | 91.6          | 9,565       | 91.6          |
|                  | 36 | エアバッグモジュール              | 7,788         | 111.5         | 91,890      | 112.0         | ワイパー                    | 6,847        | 109.4         | 6,847       | 109.4         |
|                  | 37 | 気化器・燃料噴射装置              | 21,701        | 101.3         | 262,344     | 106.0         | 警音器                     | 1,516        | 109.5         | 1,516       | 109.5         |
|                  | 38 | ステアリング装置・タイロッド・タイロッドエンド | 37,872        | 107.6         | 434,519     | 107.2         | 暖房装置                    | 5,434        | 92.4          | 5,434       | 92.4          |
|                  | 39 | 軸受メタル                   | 3,372         | 78.9          | 45,580      | 97.6          | 軸受メタル                   | 3,633        | 95.5          | 3,633       | 95.5          |
|                  | 40 | ブッシュ                    | 2,688         | 102.1         | 32,602      | 97.0          | ブッシュ                    | 2,559        | 100.3         | 2,559       | 100.3         |
|                  | 41 | オイルシール                  | 8,896         | 107.8         | 105,023     | 102.0         | オイルシール                  | 8,424        | 102.2         | 8,424       | 102.2         |
|                  |    | 合 計                     | 551,060       | 107.3         | 6,419,822   | 101.8         | 合 計                     | 524,783      | 105.4         | 524,783     | 105.4         |
| 関連自動車部品<br>(9品目) | 1  | 自動車用蓄電池                 | 8,897         | 92.5          | 99,036      | 93.7          | かさね板ばね                  | 1,920        | 96.2          | 1,920       | 96.2          |
|                  | 2  | かさね板ばね                  | 1,888         | 89.2          | 24,961      | 88.1          | つるまきばね                  | 1,699        | 103.1         | 1,699       | 103.1         |
|                  | 3  | つるまきばね                  | 1,695         | 100.1         | 20,131      | 97.2          | 線ばね(自動車用)               | 4,661        | 106.4         | 4,661       | 106.4         |
|                  | 4  | 線ばね                     | 5,039         | 108.3         | 58,280      | 102.7         | エアコンディショナ(乗用車用)         | 25,154       | 102.3         | 25,154      | 102.3         |
|                  | 5  | カークーラー                  | 25,847        | 103.1         | 304,037     | 101.2         | 白熱電球(自動車用)              | 770          | 107.2         | 770         | 107.2         |
|                  | 6  | 自動車用器具                  | 41,087        | 111.2         | 449,925     | 112.5         | 電気照明器具(自動車用)            | 40,432       | 113.8         | 40,432      | 113.8         |
|                  | 7  | 自動車用電球                  | 774           | 106.6         | 9,382       | 92.0          | カーオーディオ                 | 3,835        | 81.1          | 3,835       | 81.1          |
|                  | 8  | カーオーディオ                 | 4,369         | 86.3          | 59,497      | 107.9         | カーナビゲーションシステム           | 27,797       | 100.1         | 27,797      | 100.1         |
|                  | 9  | カーナビゲーションシステム           | 30,414        | 108.3         | 359,427     | 102.1         | 鉛蓄電池(自動車用)              | 7,995        | 98.2          | 7,995       | 98.2          |
|                  |    | 合 計                     | 120,010       | 105.3         | 1,384,676   | 104.2         | 合 計                     | 106,268      | 104.9         | 106,268     | 104.9         |

# 指標・統計

|                  |              | 2016.<br>12月分 | 対前年<br>同月比(%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同月比(%) |                  | 2017.<br>1月分 | 対前年<br>同月比(%) | 1月よりの<br>累計 | 対前年<br>同月比(%) |
|------------------|--------------|---------------|---------------|-------------|---------------|------------------|--------------|---------------|-------------|---------------|
| 内燃機関電装品<br>(5品目) | 1 ダイナモ       | 7,137         | 98.7          | 82,060      | 97.8          | 充電発電機(ダイナモ)      | 6,307        | 91.6          | 6,307       | 91.6          |
|                  | 2 スタータ       | 7,727         | 91.0          | 91,506      | 93.4          | 始動電動機(スタータ)      | 6,381        | 87.4          | 6,381       | 87.4          |
|                  | 3 ディストリビュータ  | 410           | 83.7          | 5,444       | 78.7          | 配電器(ディストリビュータ)   | 354          | 82.1          | 354         | 82.1          |
|                  | 4 イグニッションコイル | 7,695         | 103.7         | 88,515      | 103.4         | 点火線輪(イグニッションコイル) | 6,287        | 97.0          | 6,287       | 97.0          |
|                  | 5 プラグ        | 10,633        | 99.0          | 122,419     | 92.4          | 点火栓(プラグ)         | 10,562       | 112.7         | 10,562      | 112.7         |
|                  | 合 計          | 33,602        | 97.7          | 389,944     | 95.8          | 合 計              | 29,891       | 98.1          | 29,891      | 98.1          |
| 二輪自動車部品<br>(4品目) | 1 気化器        | 867           | 103.5         | 9,572       | 100.0         | 気化器              | 838          | 109.3         | 838         | 109.3         |
|                  | 2 ショックアブソーバ  | 2,162         | 99.4          | 23,581      | 94.6          | ショックアブソーバ        | 2,203        | 111.5         | 2,203       | 111.5         |
|                  | 3 計器類        | 804           | 87.1          | 10,043      | 78.9          | 計器類              | 816          | 95.1          | 816         | 95.1          |
|                  | 4 ブレーキ装置     | 1,630         | 73.5          | 19,196      | 85.0          | ブレーキ装置           | 1,828        | 100.5         | 1,828       | 100.5         |
|                  | 合 計          | 5,463         | 88.8          | 62,392      | 89.4          | 合 計              | 5,685        | 104.9         | 5,685       | 104.9         |

(注)

①平成26年1月分より／経済産業省「生産動態統計」の見直しにより、「エアバッグモジュール」の定義が変更されました。

そのため、発生年月以前の数値と発生年月以降の数値をそのまま比較出来ません。

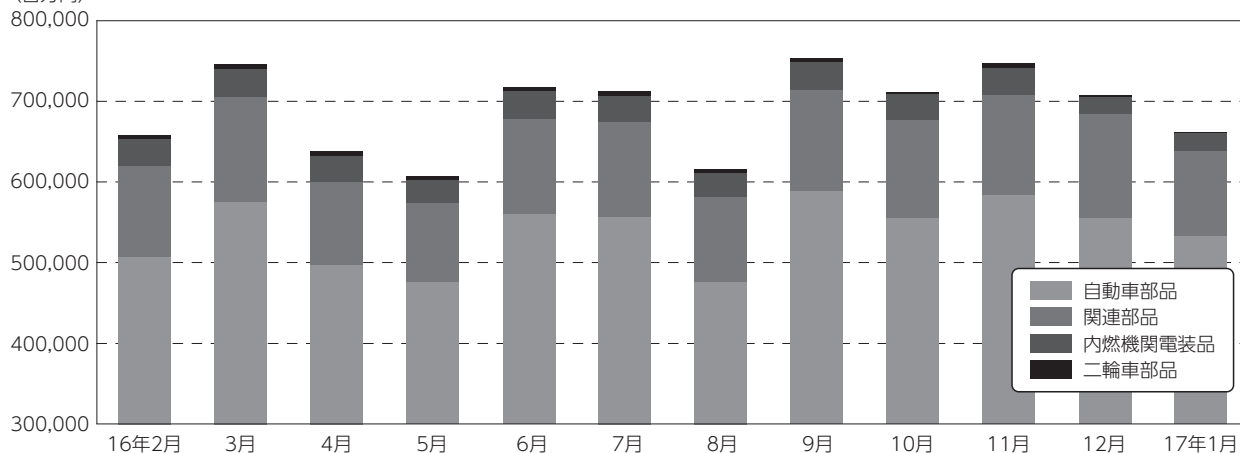
接続係数を前年の数値に乘じて、当月の数値と接続して前年比を算出しています。

②平成26年1月分より／経済産業省「生産動態統計」の見直しにより、「オイルシール」の生産額の掲載が廃止になったため、「オイルシール」のみ販売額を計上しています。

③平成29年1月分より／品目の掲載順序・表記名を一部変更しました。

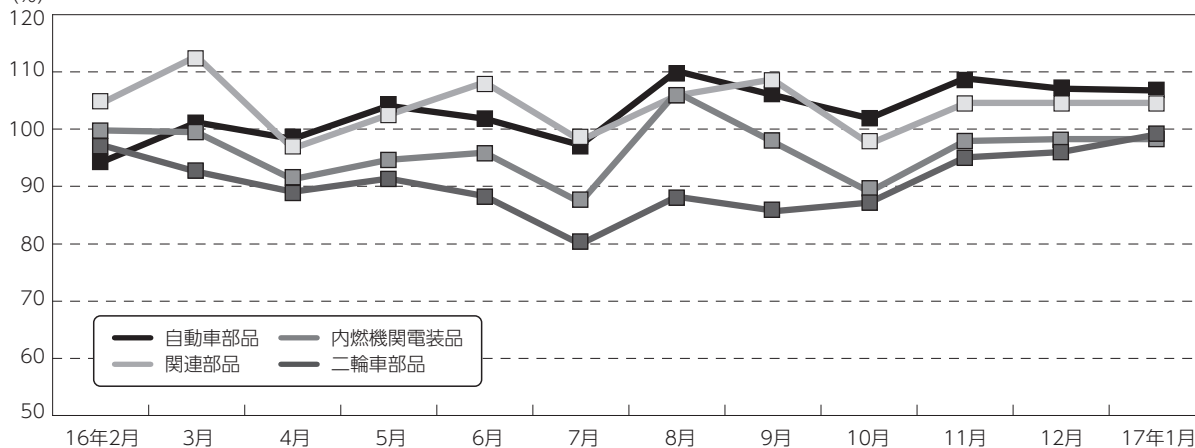
## 最近12ヶ月の自動車部品の生産推移

(百万円)



## 自動車部品生産の対前年同月比の状況

(%)



車載機器向け EMC・電気関連試験所新設 2017 年 6 月稼働開始

# 株式会社 UL Japan オートモーティブテクノロジーセンター



## 次世代モビリティ社会の実現に向けた 安全・安心に貢献するために

### サービス

- 自動車メーカー規格試験
- 国際規格・業界規格に基づく試験評価
- EMC (EMI/EMS) 及び電気試験
- 各国無線規格試験
- 防水、防塵、振動などの環境試験
- 相互接続性試験

### 住 所

愛知県みよし市根浦町 1 丁目 3 番 19

TEL : 0561-36-6120 FAX : 0561-36-6820

### アクセス

東名高速道路 三好 IC より車で 3 分

名鉄豊田線 黒笹駅から 2.0km (車で約 6 分)



お問合せ先 E-mail : CTECH.Marketing.GA@ul.com

伊勢本社 T : 0596-24-8999 F : 0596-24-8124

ULの名称、ULのロゴ、ULの認証マークは、UL LLCの商標です。©2017





***DENSO***

Crafting the Core

より良い未来を次世代へ

Crafting  
the Core